産業経	<b>済</b> 同															4				
				<b>(</b> Pla	n] ii	一画	/	[Do	) 実施									[Check]	平価 /	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. sDGs No. s <sup>1-ル</sup> 番号 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所 課名	事業・取組概要	+K-1-#- /2 //*					(目標・実績		中期	成果の方向性		R3年度 予算額		人件費 (目安) 金額	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年 局加	ⓑ策│ 強化・見直した内容
	土な事業・収組	課名		指標名等	現状値 (基準値)		R1年月	<b>支</b>	R2年度	R3年度	中期目標	73.312	予算額 (千円)	予算額 (千円)	2000	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法	等)評	価 (課題に対する改善方法等)
			若年者の就業支援の拠点として 「若者ワークプラ			目標	1, 200	人	1,300 人	、1,300 人								新型コロナウイルス感 拡大の影響による雇用情	染症	新型コロナウイルス感染症 の影響を受けて減少した求人
I-1- (4)-3 若者の 自立支 援	若者ワークプ 1 ⑧ ラザ北九州運 営事業	政策 課	において、就業相 談、セミナー、職	就職決定者数	1,360人 (H30年 度)	` 実 績	1, 200	人			1,300人 (毎年 度)	継続	80, 109	80, 415	維持	8, 995	順調	悪化を踏まえ、よりで ウンセリング対応や、新 就活様式に対応したセミ を行うなど、状況の変化 じてスピード感のある支	なカ たな ナー に応	の開拓に取り組むとともに、
			業紹介等を実施 し、若年者の就業 を促進する。			達成率	100.0	%										行っていく。		3.
						目標	32	%	33 %	5 33 %										
				施設の稼働率	32% (H29年 度)	実績	34. 2	%			35% (R4年 度)									
I-2- (1)-① 北九州 学術研究都市		産業 イノ	アジアの中核的 学術研究拠点の形成と本市の産業機 興拠点としての機能を高めるため、 北九州学術研究都			達成率	106. 9	%				Abl 4+	700 017	704 747	<i>,</i> ,,,,	0.000	WE SER	更なる施設・設備のコ 削減を図ることにより、 的な管理運営を実施する た、効果的なPRにより学 究都市の魅力や認知度を	効率 。ま 術研 句上	魅力ある施設を実現するため、大学、企業、一般利用者等のニーズを踏まえて、施設の利便性、利用者の高足度を
字 所 明 市 の 税 ま の 充 実	2 ⑧ 学術研究都市管理運営事業	ン推 進室	市の学術研究施設			目標	95	%	95 %	i i		→ 継続	793, 217	791, 717	維持   	9, 300	順調   	させ、施設の稼働率を改せていく。 【指標廃止の理由】 事業の取組内容に適切標のみとするため。		調 高めていく。また、FAISが有 する広範なネットワークを通 じた産学連携施設を促進する ことにより、更なる稼働率の 向上に努める。
				利用者の満足度 ※指標廃止	95% (H24年 度)	実績	99	%			95% (毎年 度)									
						達成率	104. 2	%												

						<b>(</b> Plar	n] [	計画	/	[Do	) 実施	施									【Check】 評価		【Action】改善
施策番号	No Si	DGs ı°−ル	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事所名	事業・取組概要				の成果	指標	(目標・実	[績]		_L_#n	成果の	)	R3年度		人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	***	番号	主な事業・取組	所管 課名	<b>子</b> 木 机恒弧叉	指標名等	現状値 (基準値)	)	R1年	度	R2年度	Ę	R3年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
					(公財) 北九州	学研都市の取り 組み評価(学研 都市内の大学や 入居企業・研究	60% (H25年 度)	目標実績	95 98. 6	%	95	%	95 %	95%(毎年度)									
I-2- (1)-先研発うの・ 場でなる。 3端究を人確育	3	8	学術研究拠点 推進事業	産業イノ	産業学術推行の (FAIS) が事携連 が事態連学拠点 を技術を は大大は が事携連点 が が は が は 大大 が り は 大大 が が ま り 、 大大 が が ま り 、 大 大 が が り 、 大 大 が が り た 大 た 大 う こ と う こ と う こ と ら く と ら と ら こ と ら と ら と ら と と ら と と と と と と	機関の評価)		達成率	103. 8	%					- 継続	359, 851	344, 719	維持	7, 325	順調	(公財) 北九州産業学術推 進機構の第5期中期計画 (2018-2022) を踏まえて、 これまで取り組んできた先端 の研究開発を担う人材の確 保・育成に加えて、本市の生 産性向上に寄与する体制を整 える。	順調	企業のロボットやIoTの活 用等による革新的生産性向上 に向けた支援等を行うことに より、自らものづくりの変革
担う人 材の確 保・育 成			正延爭未	ン推 進室	すり、北ののでは 北ののでのでは 地点とし、地域に を高めて 地域に を高めて がして がは がいませば がいませ がいまし がい がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がいまし がい がいまし がいまし がい がい がいまし がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい			目標	65	社	80	社	80 社								令和3年度は会議や企業訪問のオンライン化、職員のテレワークの推進等、新しい生活様式を踏まえた「働き方の新しいスタイル」の推進や事		や価値の創造に取り組むよう な中小企業の人材を増やして いく。
					度化と新たな産業の創出を図る。	新たな研究開発 プロジェクトに 参加した企業数	61社 (H27年 度)	実績	74	社				80社 (R4年 度)							業の見直しを図る。		
								達成率	113. 8	%													
I -2- (2)-①					市内就職を希望 する学生と企業と のマッチングを体			目標	330	人	345	Д	360 人								地元就職促進のため引き続		インターンシップがその後 の就職活動等に大きく影響を
成業え度の産業を	4	8	インターン シップ等推進 事業	政策課	のマッチンクを体系的に推進するで、若者の地元若者の地元をで、が地元企業の人材確保につな	インターンシッ プ参加者数	223人 (H30年 度)	実績	284	人				400人 (R6年 度)	継続	10, 000	10, 000	維持	3, 200	順調	きインターンシップに注力するほか、コロナ禍での停滞を防ぐため、参加企業に対しオンラインインターンシップ実施を働きかけていく。	順調	与えることから、参加企業を 増やすほか、インターンシッ ププログラムの充実を図り、 市内外の学生へのアプローチ
の育成					げる。			達成率	86. 1	%													を強化していく。
					中小企業経営者 の高齢化に伴い中 小企業の数が年々 減少するなど、事 業番の関係	事类之创 MOA		目標	100	%	100	%	100 %								国は法人版事業承継税制を 大幅に改正し、2018年より10		
I-2- (3)-① 中小企 業者 で 援	5	8	事業承継・M &A促進化事 業	中小企業振興課	しから事業承継計 画の策定など具体 的な成果の創出ま	促進化事業助成 金の支援を行っ た企業の中で、 事業承継計画の 策定またはM&A の着手に至った	100% (H29年 度)	実績	100	%				100% (毎年 度)		5, 000	5, 000	維持	5, 940	順調	年間を事業承継の集中実施期間と位置づける。 事業の継続を促す様々なな施 事業のではいる。 本市においい事業れるを実が見込まれる。 ででるよりきませる。 を表する。	順調	国の施策に呼応し、事業承継を実施する企業が見込まれることから、本市でも引き続き同規模の支援施策を実施し、事業承継・M&Aの促進を図る。
					でをトータルでサポートすることで、市内中小企業の円滑な事業継を促進するもの。			達成率	100.0	%											実施し、事業承継・M&A促進施策を行っていく。		

生未形	_ <i></i>	17-5																				
						(Plar	n] ===	画	/ [[	Do]	実施									【Check】 評例	<b>5</b> /	【Action】改善
施策番号	No.	SDGs 基	本計画の施策 を構成する な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要		ı	<b>注評</b> 征	師の成果指標	票(目	標・実績	)	-t- #0	成果の		R3年度	一十一年	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施第	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	1	番号主	な事業・取組	所管 課名	子不 小姐奶又	指標名等	現状値 (基準値)		R1年度	ı	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等	評価	(課題に対する改善方法等)
								目標	126 名	艺 1	35 名	135 名										
					と 暮らしに身近	マイスター及び 技の達人認定延 ベ人数 (毎年交 互に認定)	129名 (H30年 度)	実績	132 😤	Z			150名 (R5年 度)									
I-2- (3)-② 技術・ 技能を	6	9 北	九州技能伝 推進事業	雇用政策	な生活関連・ビー では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			達成率	104.8 %	%				→継続	8, 440	8, 170	維持	15, 400	順調	北九州ゆめみらいワークの他の事業と連携することで、マイスターや技の達人 認知度向上を目指す。併せて、新型コロナウイルス感症の状況確認や感染防止対	か	新型コロナウイルス感染症 の感染防止対策や感染状況に 応じて業務の見直しを行いつ
技技継るのの		A	<b>世</b> 座 尹未	課	高定 技能では、一大大学では、一大学学のでは、一大学には、一大学にはいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい			目標	8, 750 ノ	人 10	, 500 人	12, 250 人								を講じながら、技の達人の 定や技能伝承講座等の開催 行い、引き続き技能伝承活 の推進を図る。	認 を	つ、引き続き技能伝承活動の 推進を図る。
					域産業の振興に貢献するための技術 継承活動を推進する。	講座受講者と実 技指導受講者の 合計(累計)	7, 495人 (H27~ H30年 度)	実績	10, 121 人	٧			15, 750 人 (R5年 度)									
								達成率	115. 7 %	%												
Ⅳ(1)地業ジ展推る横なの-1-①企ビスをす織的制備		<ul><li>(8)</li><li>(3)</li><li>(4)</li><li>(5)</li><li>(6)</li><li>(7)</li><li>(7)</li><li>(8)</li><li>(9)</li><li>(9)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)</li><li>(10)&lt;</li></ul>	新>中小企 のDX推進支 事業	室	デ案企す企う運 ポ中援に経費費と小化すず一で業る業ッ営そ一心を、費なのに企等るりまる活内つフる中セしうス人各助りの強い用べ用ユなォ。でンたとテ材種を、デカル用ベー、タ伴とム育取行市ジにやをダ検ザプム サー走も導成組う内タ推提一討一 を を支 入経経こ中ル進	補助金採択社数		目標実績達成率				単年度目標設定なし	110社 (R2~R5 年度累 計)	5		70, 000	_	11, 050	_	令和2年度から実施している「デジタル化サポート事業」をDX推進に資する事業して発展させる。		これまで培ってきているノ ウハウの活用、人的ネット ワークの拡充により、市内中 小企業のDX化の推進を図る。

						(Plar	n] [	計画	/	【Do	) 実	施									【Check】 評価	/	【Action】改善
拖策番号	No	SDGs	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所需	事業・取組概要		1		の成果	指標	(目標・実	<b></b> [績)			成果の 方向性	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	110.	番号	主な事業・取組	所管課名	<b>事</b> 术 机机帆女	指標名等	現状値(基準値)	)	R1年原	度	R2年度	ŧ	R3年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
					技術力はあるが 営業経験に乏し く、情報発信力も 十分ではない地元 中小企業の受注拡			目標	65	%	65	%	65 %								企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていくとともに、市内中小製造		
	8	8	ビジネスチャ ンス拡大支援 事業	,中小 企業 振興 課	十分で 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・	大規模展示会等出展支援を行った企業の中で、商談成約に至った企業割合	67% (H22年 度)	実績	66. 7	%				65% (毎年 度)	継続	9, 736	16, 436	増額	1, 980	順調	業を主なターゲットとして、 デジタルトランスフォーメー ション(DX)を切り口に販路 拡大支援につながるセミナー や相談会等を実施し、激しい ビジネス環境における市内企		
					チングコーディ ネート ((公財) 北九州産業学術推 進機構が実施)			達成率	102. 6	%											業の競争力維持・強化を図 る。	_	
					新技術・新製品開発に対する			目標	65	%	65	%	65 %										
	9	89	中小企業技術 開発振興助成 金	中小 企業 課	小企業の 小企業に 大学で 一小企業の で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	製品化・実用化の割合(助成5年後)	67% (H18年 度助成 実施分)	. 績 .	86% (H26年原 或分・5 過後)	度助 年経				65% (毎年 度)	継続	21, 986	21, 986	維持	3, 825	順調	企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。		
-1- )-② 小企 の競 ·力向					換を促進する。			達 成 率	_													順調	企業ニーズ等を踏まえ、き続き効率的な運営に努めいく。 販路拡大や技術開発等の援を力力による。
								目標	90	%	90	%	90 %										競争力向上を図る。
					中小企業支援法 第7条に基づき、 (公財) 北九州産 業学術推進機構を 指定法人として、 平成14年度に北九	利用者アンケートによる満足度(窓口相談)	81% (H22年 度)	実績	96. 3	%				90% (毎年 度)									
	10	8	中小企業支援 センター特定	中小業長	州市中小企業支援			達 成 率	107. 0	%					- 継続	19, 800	18, 283	減額	2, 730	順調	企業ニーズ等を踏まえ、補助交付額の見直しなど、適切かつ効率的な運営に努めていく。また、金融機関や税金業		
			支援事業	課	マース で で で で で で で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の			目標	95	%	95	%	95 %								等のマネージャーを中小企業に効果的に活用していただけるよう、企業訪問時のPRなど積極的な運営に努めていく。		
					ている。 市は、これらの 事業を行うために 必要な経費を補助 している。	利用者アンケートによる満足度 (専門家派遣)	96% (H25年 度)	実績	100	%				95% (毎年 度)									
								達成率	105. 3	%													

生未形	E)																		
				[Pla	ın] it	画	/ <b>[</b> Do	o】 実施							<b>(</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. SDGs 基本計画の施策 で構成する 主な事業・取組	主要事所名	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	評価	Tの成果指標 R1年度	(目標・実績) R2年度	R3年度	中期目標	↓成果の   方向性  <del>-</del>	予算額	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
	北九州テレ ワークセン ター管理運営 事業	スタトアプーッ推	北九州テレマ サンター サンターでででは、 サンターでは、 サンターでは、 サンター サンター サンター サンター サンター カットの アンター アンター アンター アンター アンター アンター アンター アンター	施設入居率	72% (H28年 度)	目標 実績 達成率	85 % 92.1 % 108.4 %	90 %	90 %	90% (毎年 度)	継続 12	21, 984 1	119, 947	維持	11, 050	順調	創業相談受付やアクセラレションプログラム(事を)ないの間事を受けなら、なケール(知事を)を目しを強化してといる。 をはいる。 をはいるでのに、 をはいるでは、 をはいるで、 をはいるで、 をはいるで、 をはいるで、 をはいるで、 をはいるで、 をはいるで、 をはいる。 をしる。 をはいる。 をし。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をは、 をはいる。 をはいる。 をはいる。		
IV-1- (1)-③ ベチ企創育 成	<新>スター トアップSDGs イノベーショ ントライアル	スタト	を を を 有すや と は た は た は る を る た り る た り る り る り と り る り と り る り と り る り と り と	雇用創出数	_	目標 実績 達成率			単年度目標設定なし	12人 (R6年度 までの 累計)			20. 000		10,000		内閣府の「スタートアッ プ・エコシステム推進拠点都 市」の選定を受け、スタート	順調	北九州テレワークセンター(COMPASS小倉)を核としながら市内の様々な創業支援事業者と連携し、創業者の様々なニーズに対応した支援を実施する。
	12 ⑨ イノベーショントライアル事業	進課	に 化れ行々長内を いで いで いで いで のこトル魅力す に に に に に に に に に に に に に	製品化・実用化 の割合	_	目標 実績 達成率			50 %	50% (毎年 度)		_ 8	80, 000		13, 800		アップの成長加速化に向けた 新たな取組みとして、資本形 成支援(事業化支援・実証支 援)を実施する。		

<b>医果</b> 栓					[Plar	า】 🖺	画 /	<b>′【</b> [	o】 実	施							<b>(</b>		[Check]	評価	/	【Action】改善
施策番号 施策名	No. 雪*-	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		成果指標 11年度	に目標・写 R2年原		3年度	中期目標	成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向け 強化・見直した (課題に対する改善	て 内容 方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					研究開発プロジェクト実施件	_	生	20 件 77 件		件 2	0 件	20件										
	13	研究開発プロ ジェクト支援 事業	産業 イベッ	市内の大学や企業が実施する」、「京を上大学をでは、「のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	数(		達	5.0 %	6			<b>度</b> ) -	- 継続	55, 305	52, 790	維持	7, 600	大変順調	地方大学・地域産 付金事業を活用し、 上に資する研究開発	業創生交 生産性向 支援の取		
		<b>学事業</b>	ショ ン推 進室	介護」「生産性向 上」等の分野の研 究開発を支援す る。			目標	2 <b>f</b>	2	件	2 件							川共 山村	組みを強化する。	X 1,		
					事業化件数	_	実績	2 件	-			2件 (毎年 度)										
IV-1- (1)-⑤ 地元企 業の高							達 成 10 率	0.0 %	ó												大変	学術研究都市を中心とした 産業連携事業、大学間連携事
度化· 新製品 開発支 援					**************************************		目標	95 %	6 95	% 9	5 %										順調	業をさらに効果的に実施し、 地域企業の高度化を図る。
				(公財) 北九州 産業学術推進機構 (FAIS) が行う大 学問連携事業のほ	学研都市の取り 組み評価(学研 都市内の大学や 入居企業・研究 機関の評価)	60% (H25年 度)	実 績	3.6 %	ò			95% (毎年 度)							(公財) 北九州産 進機構の第5期中期計 (2018-2022) を踏ま	一画		
	14	学術研究拠点	産業 イノ ベー	(公財) 北九州 産業学所推進行うの 学間連携事携、 が事業 が、体技術対する は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、			達 成 10 率	3.8 %	6				- 継続	359, 851	344, 719	維持	7. 325	順調	これまで取り組んで、 の研究開発を担う人。 保・育成に加えて、 産性向上に寄与する	きた先端 材の確 本市の生		
		推進事業	ンまと変	等を行うことにより、北九州学術研究都市の研究開発 拠点としての機能			目標	35 ₹	80	社 8	0 社		12-120	,	,	,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	える。 令和3年度は会議や問のオンライン化、『 レワークの推進等、『 活様式を踏まえた「何	職員のテ 新しい生		
				を高め、地域における産業技術の高度化と新たな産業 の創出を図る。	新たな研究開発 プロジェクトに 参加した企業数	61社 (H27年 度)	実績	74 社	<u> </u>			80社 (R4年 度)							新しいスタイル」の 業の見直しを図る。	推進や事		
							達 成 11 率	3.8 %	ó													

				(Plar	า】 計	画	/ [D	) 実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号	No. SDGs 基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要等所名	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	美評句	面の成果指標 R1年度	(目標・実績) R2年度	R3年度	中期目標	成果の 方向性	R2年度 予質額	R3年度 予算額 (千円)	申未貸	人件費 (目安) 金額	R1年度 事業	強化・見直した内容	R1年度 局施策	🗄 強化・見直した内容
		誅名	カーメーカーに よる更なる地場調 達促進の取組みや	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(基华旭)	B				日標		(千円)	(十円)		(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
			調達先の複数化など部品サプライチェーンの再構築が進められてお			標	105 社	105 社	105 社										
	8 自動車産業取 引拡大支援事 業	企業 立地 支援		パーツネット北 九州会員数	57社 (H21年 度)	実績	96 社			105社 (R5年 度)	継続	4, 744	4, 535	維持	9, 300	順調	パーツネット北九州による 情報発信やマッチング機能の 強化を行い、地元企業の支援 を実施する。		
IV-1- (2)-① 次世代		<b>I</b> • <b>∧</b>	や部品サプライヤン ヤーのニュス、サース ・イヤース、カース ・イヤース、カース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イヤース ・イナース ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ ・イ														2 7 10 7 0 8		次世代自動車産業を含む自動車関連産業の誘致を図るため、(公財)北九州産業学術推進機構等と連携しながら、
次自産 産 点 成 が が が が の 形 で の の の の の の の の の の の の の の の の の			積極的な情報発信 をしながら、ングの 機会拡大に取り組 んでいく。			達成率	91.4 %											順調	関連企業の新規参入や取引拡大に向けた取組を実施する。 また、(仮称)北九州自動 運転推進協議会を設立し、本市における自動運転関連産業
						目標			社 30 団 体										の推進を図る。
	8 <新>自動運 転関連産業推 進事業	企業 立地 支援 課	自動運転分野へ の市内企業等の参 入、研究開発施設 の誘致等を図る。	セミナー・勉強 会等の参加企 業・団体数	_	実績				30社 · 団体 (毎年 度)	_	_	4, 000	_	20, 400	_	(仮称) 北九州自動運転推 進協議会を設立し、本市にお ける自動運転関連産業の推進 を図る。		
						達成率													

産業経済	9 <i>1</i> 9)				[Plar	n]	一画	/	【Do】 実i	 <b></b>						4		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号	SDGs	基本計画の施策	主要	± 444		事業	き 詳価の		<b>指標(目標・実</b>			成里の	R2年度	R3年度	事業費(	人件費 (目安)	R1年度	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて
·施策名	0. ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所需	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		R1年度	R2年度	R3年度	中期 目標	_ 成果の 方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	事業費の増減(	金額	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							目標	50	件											
					地元企業のロ ボット導入企業 件数(累計)	6件 (H26年 度)	実績	31	件		50件 (H25~ R1年度)	)								
							達成率	62. 0	%											
							目標	10	社											
				地方大学・地域 産業創生交付金を 活用し、産業用ロ	ロボット産業へ の新規参入社数	2社 (H27年 度)	実績	10	社		10社以 上 (H27~ R1年度)									
Ⅳ-1- (2)-② 我が国 をリー ドする 1	7 8	ロノ用学創業連の大学を大学を大きを大きの大力を大地域を開いた地事の大学の大学をはいまれる。	産業イノ	産活ボニ究でと少労をでとり労をでより、のにをに、齢不るな学を産用が産進人化足中に、からのにをに、齢不るなどのでは、からいのでは、からいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいいのでは、からいのでは、のは、のは、のはいいのでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは			達成率	100. 0	%			- 継続	181, 000	203, 000	増額 23	3, 250	順調	製造現場における人手不足 への対応及び生産性向上のた め、産業用ロボット導入支援 を引き続き行う。	順調	製造現場における人手不足への対応及び生産性向上のがめ、産業用ロボット導入支援を引き続き行う。
ロボッ ト産業 拠点の 形成	9	創生事業 (産業用ロボット 導入支援)	ンョ ン推 進室	少、 働力を が動力すり等の が展示 が手有りり等の が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、			目標		2, 000	億 円 2,140 億	<u> </u>							め、		め、産業用ロボット導入文だ を引き続き行う。
				い、生産性革命を 推進する。	市内ロボット関 連産業の売上高	1, 633億 円 (H29年 度)	実				3, 200億 円 (R9年 度)									
							達成率													
							目標		1, 002	人 1,022 人										
					市内ロボット関 連産業の雇用者 数	842人 (推計) (H29年 度)	実績				1, 142人 (R9年 度)									
							達成率													

産業経	済局																				
					<b>(</b> Plar	n] =	一画	/	[Do	実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号	SDGs 基	基本計画の施策	主要事業	事業・取組概要			<b>美評価</b>	の成果	指標	(目標・実績)			成果の 方向性		R3年度	事業質	人件費 (目安)	R1年度	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	番号 主	基本計画の施第 を構成する 主な事業・取約	主要事業所名	事業	指標名等	現状値 (基準値)		R1年原	度	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
IV-1- (2)-③ 素材・ 部業	18 8 部	È業立地促近 臺業(素材・ 『材)	進· 企立支課 業地援	地めンム情企のない。 本を促業しいのようでは、 本を企業のでは、 本を企業のでは、 本をできるできるです。 本をできるできるできる。 本をできるできるできる。 本をできるできるできる。 本をできるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできる。 できるできるできるできるできるできる。 できるできるできるできる。 できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	新たな雇用創出 数(累計)	210人 (H25年 度)	目標実績	855 789	人 人	855 人	855 人	855人 (H25~ R3年度)	継続	24, 834	22, 629	減額	5, 800	順調	金融機関と連携し、金融機関が保有する企業の進出動向に関する情報等を収集し、誘致活動に活用する。	順調	誘致対象企業のニーズに対 応できるよう、全庁的な調整 に努めるとともに、魅力的な インセンティブの構築となる よう、制度の充実を図り、企 業進出を後押しする。
*				の交流会開催など を行う。			達成率	92. 3	%												業進出を後押しする。
				本市における航空機産業の振興を			目標	単年度  設定な	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし								航空機産業への参入にあ		
IV-1- (2)-④ 航空機 産業の 振興	19 8 新愛	亢空機産業誌 女促進事業	企業地援 課	本で機たのでの を機をいての を関る を関る はのでの をはいての が、 におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに におのに において のが、 において のが、 にない にない にない にない にない にない にない にない	航空機産業の生 産拠点等の誘致 件数	0件 (H25年 度)	実績 達成率	1	件			1件 (R4年度 までの 累計)	継続	2, 500	2, 655	増額	3, 650	順調	たっては、 たっな技術のから ででは、 高とで、 とので でで で で で で で で で で で の の の の の り い が よ 、 に る 会 議 は の の り ら は と の り ら と の し の し に の し に た し に た し た し た し た し た し た し た し た	順調	「福岡県航空機産業振興会議」の取組みと併せて、地元企業の個別具体的なニーズに応じた支援を行っていく。
							目標	30	Д	30 人											
					セミナー、講座 の参加人数(単 年度) ※指標廃止	25人 (H26年 度)	実績	46	人			30人 (毎年 度)							士中共 じっま衆ネの仕立		
IV-1- (2)-5 知識 サー業 ス族興	20 8 5	ナービス産業 長興事業	商業サビ	サービス産業の 生産性向上のため で発や具体の 活動を支援する とにより、産業の サービス産業る。			達成率	153. 3	%				- 継続	3, 285	3, 164	維持	10, 800	大変順調	市内サービス事業者の生産 性向上に関する意識向上を図 るため、関係機関と連携し、 引き続き具体的取組み支援を 行う。	大変順調	デザインワークショップや デザインシンポジウムを通じ て、市内サービス事業者のデ ザインカの強化を図る。
っ ス 産業 の 振興	177	<b>以兴</b> 尹禾	産業政策課	とにより、市内 サービス産業の競 争力向上を図る。			目標	7	社	7 社	7 社							川民司列	【指標廃止の理由】 セミナー、講座の参加人数 は、活動指標に近く、成果を 測るのに不十分であるため廃 止する。	川以前川	ザイン力の強化を図る。
					市内サービス事 業者に対する取 組支援件数	5社 (H26年 度)	実績	10	社			7社 (毎年 度)									
							達 成 率	142. 9	%												

<b>生未</b> 和	Ξ <i>1)</i> -	1 /FU					70:	<b>,</b> -		/ 75	7									[O]   ] =====	,	
						- I	[Plai			/ <b>[</b> Do						T						【Action】改善
施策番号 施策名	No	SDGs . ュール 来早	基本記を持	十画の施第 構成する	王安   事業   所管	また。	15.12E 57 55	1	<b>美評値</b>	面の成果指標 B1左席		D2.45.45	中期		R2年度 予算額	R3年度 予算額	事業費の増減	人件費 (目安) 金額	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
IV-1-① 経及の	21			<sub>講绎学</sub> 立地 (世代) 立地 (世代) (世代) (世代) (世代) (世代) (世代) (世代) (世代)	px-tu	本市への企業立地を促進するた	指標名等  企業立地に割しよ出  を業立地に割した。  を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	現状値 (基準値) 1,029人年 (H30 度) 5355人年 (H21年)	達成率目標	4, 200 人	800 人	R3年度 1,600 人	中目標 4,000人 (R2~R6 年度) 4,200人 (H25~R1 年度)	方向性		R3年度 予算額 (千円)		(千円)	評価	強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 金融機関と連携し、金融機関が保有する企業の進し、 武力を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	局評価順調	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等) 誘致対象企業の二一が表別 の二一があるとったを で努めるととって が認めるととって が認めない。 が認めない。 が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して が記して がここと。 が記して がここと。 が記して がここと。 が記して がここと。 が記して がここと。 がこと。 がこと。 がここと。 がこと。 がここと。 がここと。 がこと。 がこと。 がここと。 がこと。
高業点致産重誘					企業	若松区響灘エリ アの優位性を活か し、製造業をはじ	新たなビジネス における雇用人			121.8 % 単年度目標 設定なし	300 人	350 人	50人增							引き続き、誘致企業の二一 ズに応じた支援を行い、進出 を後押しする。 【中期目標の変更内容】		を後押しする。
	22	2 8 9	響灘.致推.	エリア記 <mark>進事業</mark>	立支課	若松区響灘エリアの優位性を活動をした企業をは集まれた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	であれる 数(累計) ※中期目標改訂	_	実績 達成率	80 人			50人瑁 (毎年 度)	継続	2, 050	2, 000	維持	2, 900		【中期目標の変更内容】 R2年度に大規模な民間産業 用地の開発に着ずすることが 決定したことで、当該開地へ の本格的な誘致活動が開始で きることから、単年度の具体 的な数値目標を設定したも の。		

						<b>[</b> Plar	า] 📑	計画	/	[Do	) 実施									【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号		SDGs	基本計画の施策	主要	<b>★₩ T-</b> /0 1m ···		事美	業評価	の成果	指標	(目標・実績	)		成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて	R1年度	R3年度に向けて
・施策名	No.	番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	)	R1年	度	R2年度	R3年度	中期目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
	23	89	北九州空港跡 地産業団地整 備事業	企立支課	北九州空港跡地 産業団地の整備を 行う。	分譲率	67% (H25年 度)	目標実績	83 78	%	83 %	83 %	分譲率 100% (R5年 度)	継続	368, 896		減額		順調	企業から問い合わせを受け ており、購入希望時期に間に 合わせるよう、関連工事との 調整を密に取りながら、早急 に造成工事を完了させ、早期 の分譲を目指す。		
IV-1-② (3)-果優度業な充 を変え の遇、基ど実								達成率	94. 0	%											- 順調	関連工事の進捗に合わせて 産業用地の整備を進めていく ことで、産業基盤を充実させ ていく。
産業基盤なだ実の充実					IT企業等を新規 に呼び込むため、 また、市内拠点の 増設を促すための			目標	1, 000	人	1,720 人	1,940 人								補助制度の周知を図るとともに、同制度の活用を通じて		オフィスリノベーション補助金については、制度の活用事例の増加に努める。
	24	89	オフィスリノ ベーション補 助金	企業地援課	は増受い業フをオする選環ので全体では、大き畑では、大き町では、大きでは、大き町では、大き町では、大き町では、大き町では、大き町では、大き町では、大きでは、大きでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがではりでは、大きがではいいは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがではいいはいいはいはいいはいいはいいりでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがではいいはいいはいいはいいはいはいいはいはいはいいはいりではいはいはいいはいはいいはいはいはいは	雇用創出数(累計) ※中期目標改訂	(H27~ 30年度	接	1, 629	人			1,940人 (H27~ R3年度 累計) -	継続 -	50, 000	10, 000	減額	7, 900	_	企業から選ばれるオフィス環境の整備を促す。 【中期目標の変更内容】 目標年度到達のため。		
					助金を交付する。			達成率	162. 9													
	25	<b>4 8</b>	IT系企業の地 方での人材供 給モデルづく り事業	企業地援	これまで市内外 に構築してきた人 材供給ネットワー を活用し、 の誘致 に繋げる。	雇用創出数(累計)	1,302人 (H27~ 30年度	標	1, 000		1,720 人	1,940 人	1, 940人 (H27~ R3年度	継続	6, 000	6, 000	維持	7, 900	_	学校との関係構築における 効果を、今後の更なる企業誘 致につなげる。		
IV-1- (3)-③ 人材供 给 住			り事業	課	る新規企業の誘致に繋げる。	※中期目標改訂	累計)	達成率	162. 9	%			累計)							【中期目標の変更内容】 目標年度到達のため。		大学や高専等とのネット ワークを活用し、市内に進出 したIT企業への人材採用を支 援、企業誘致の促進を図る。
(人給環備の支)供住整ど地	26	8	<新>お試しサテライトオフィス誘致促進事業	企立支課	があるととなる。 を対象になると、 を対象になると、 を対すないにあると、 をできる。 をでる。 をできる。 をできる。 をでををできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで	雇用創出数(累計)	1,302人 (H27~ 30年度 累計)	・ 実				1,940 人	1,940人 (H27~ R3年度 累計)		_	30, 000	_	7, 900	_	お試し期間後に参加企業の 検討が優位に進むよう、市内 企業・学生とのマッチングを 行うため、ビジネスの創出可 能性を判断できるプロフェッ ショナル人材をマッチング	_	がまた、参加企業の本間である。 が進むようなお試し期間の内容となるよう、市内企業や をとなるようである。 を対し、市内企業を対し、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 を対し、市内企業を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがし、 をがし、 をがして をがして をがして、 をがして、 をがして、
			<b>ルニナ</b> 不	<b>₽</b> ↑	企業や学生との マッチングを行 う。		<b>자미</b> /	達成率					本印/  -							コーディネーターとして配置する。		

産業経済	<b>斉局</b>																			
					(Plar	n] =	画 /	[Do	) 実施							<b>(</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号 N ·施策名	SDGs O. コ・ル 番号	基本計画の施設 を構成する 主な事業・取得	主事 所課名	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)		成果指標  年度	(目標・実績) R2年度	R3年度	中期目標	_ 成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
IV-2- (1)-① 中心市	07 Q	<b>&lt;新&gt;黒崎</b> /援プロジェ	でなった。	黒崎地区の活気 を取り戻すため、 令和3年度から黒崎	黒崎地区商店街エリアの空き店舗率	/D0/ <del>/</del>	目標 実績 達成率	5 %		19.3 %	18. 9% (R5年 度)			7, 000		6, 150		令和2年8月のクロサキメイトビル閉鎖に伴い、黒崎井筒屋、クエスト黒崎店をはじめ、多くのテナントが閉店、移転(統合)を余儀なくされ、黒崎駅周辺の賑わい創出にま		令和2年8月のクロサキメイトビル閉鎖により、黒崎駅周辺の賑わい創出にますます苦戦する中、商店街を中心と開た集客力のあるイベントの開
中がののできます。		版 リロンエ・ ト事業	ノ産政課	地区でのイベント等に支援をする。	黑崎地区歩行者 通行量(人/ 日)	10, 279 人 (R2年 度)	目標 実績 達成率	310 人		10, 381 人	10, 587 人 (R5年 度)			7,000		0, 130	_	すます苦戦する中、商店街を中心とした集客力のあるイベントの開催、消費者のニーズを捉える実証実験的な取り組み、商店街主催イベントの支援等を積極的に行う。	_	催、消費者のニーズを捉える 実証実験的な取り組み、商店 街主催イベントの支援等を積 極的に行い、黒崎地区の商業 振興を図る。
IV-2- (1)-② がんば る商店 街への 支援	28 8	商店街活性交援事業	化商業サビ産政課	商店街の活性化におけるの店舗の活性の活ける空きのはません。 有効利用促発のの 有効がありませい。 新たな話性のの 新たな話性の 動、活性である。	市内主要商店街の空き店舗率	16.3% (H25年 度)	目標 16. 実績 18. 達成率 87.	3 %	16.3 %	16.3 %	16.3% 以下 (R5年 度)	継続	9, 938	10, 850	増額	3, 075	順調	積極的に商店街とコミュニケーションを図り、商店街のニーズを知った上で、国や県の制度とともに、市の制度の活用を進め、商店街活性化に向けた取組を支援する。	順調	商店街アンケートやヒアリングを参考に、商店街・地域・市民のニーズに合った商店街の活性化に向けた支援を充実させる。
IV-2- (1)-③ 次代新 担う新	29 (8)	商業人材育	商業サビ	市内の商業・ サービス業に対い で、いの商業に対いウ	受講者アンケートで「満足」は「大変満足」と答えた割合※指標廃止	63. 0% (H25年 度)	目標 実績 達成率	0 %	80 %		80% (毎年 度)	公平 公主	2, 158	2, 106	維持	3 075	大変	引続き、効果的なセミナー を続けるとともに、より踏み 込んだ商業人材の育成を図 る。	大変	商業を営む経営者に対し、 具体的な課題解決について講
次担し業創育)を新商の・		事業	2産政課	なナー (であった) (でa) (ob) (ob) (ob) (ob) (ob) (ob) (ob) (ob	設定した目標を 達成した事業者 の割合 ※指標追加	_	目標 実績 達成率			80 %	80% (毎年 度)	ጥርኋ ብኝ ር	2, 130	2, 100	小仕 1寸	5, 075	順調	【指標廃止・追加の理由】 満足度では事業の達成度を 測れないため、新たな指標を 設定する。	順調	座を開設し、次世代の人材育 成を図る。

				(Plai	า】 計	画	/ [	(Do)	実施							-		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号 •施策名	No. sDGs - i - i を構成する 音号 主な事業・取組	主要 事管 課名	事業・取組概要	11-1-6-44		評価	iの成果指 R1年度		目標・実績) R2年度	R3年度	由期	成果の 方向性	R2年度 予算額		事業質	人件費 (目安) 全額	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
	20136 1842		企業、大学、医 療・福祉機関、行 政などが連携し、 健康・介護、女	指標名等 健康・生活産業 における雇用の	E 1	目標実績	5	<b>A</b>	5 人	5 人	中期 目標 5 人 年		(千円)	予算額 (千円)		金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
Ⅳ-2-(2)-① 高齢中心た	30 ⑧ 健康・生活産	商業 サビス	性でし民にスめられる ・・・ただ活のすいでは、 ・・・ただでは、 ・・・ただでは、 ・・・ただでは、 ・・・ただでは、 ・・・ただでは、 ・・・たでは、 ・・・たでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	創出数	(支)	<b>養</b> 達成率		%			度)	- 継続	9, 252	8, 852	維持	6, 900	順調	新ビジネス創出のため、意 欲ある会員企業のマッチング の場の提供を行う。 また、新たに参入する可能 性が高いと思われる分野につ いて調査・検討し、実証の支 援を行う。	順調	北九州市健康・生活産業振 興協議会を運営する中で、健 康・生活支援サービスを対象 としたビジネスコンテスト等 を実施することにより、高齢
でと健生援ネ推 中し康活ビス進 でした・支ジの		産業 政課	のの成康協業に受いている市振、個的に対している。本語をでは、大きのののでは、大きのののでは、大きののののでは、大きののののでは、大きのののでは、大きのののでは、大きのののでは、大きないでは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないまないは、ないは、はいきないは、ないは、はないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは	健康・生活産業 の創出に向けた 取組実績(イベ		目標		<b>人</b>	3,000 人		3, 000人		,	,		, ,		【指標廃止の理由】 イベント・セミナー等への 来場者数は、活動指標に近 く、成果を測るのに不十分で あるため廃止する。		者を始めとした、市民の健康で快適な生活につながる新しいサービスの創出を支援する。
			マップに へいがく かんり かんり でん がん でん	ンド・セミナー 等への来場者 数) ※指標廃止	2, 353人 (H25年 度)	美績 達成率		%			(毎年 度)									
IV-2- (2)-② ソー シャル ビジネ ス創出			企業、大学、医療・福祉機関、行政などの選携を	<b>唐唐 丛江立場</b>		目標	5	人	5 人	5 人	<b>5</b> .1								順調	北九州市健康・生活産業振 興協議会を運営する中で、意 欲ある会員企業のマッチング の場の提供や、新たな分野へ の進出を支援することで、 ソーシャルビジネスの創出を
の支援		<del></del>	健性でして ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き	健康・生活産業 における雇用の 創出数	(H26年 度)	達	33 660. 0	人 0/			5人 (毎年 度)							新ビジネス創出のため、意 欲ある会員企業のマッチング の場の提供を行う。 また、新たに参入する可能		支援する。 これまで培ってきているノ ウハウの活用、人的ネット ワークの拡充により、市内中 小企業のDX化の推進を図る。
	31 ⑧ 健康・生活産	ビス	大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	健康・牛活産業		成率目標			3,000 人			→継続	9, 252	8, 852	維持	6, 900		性が高いと思われる分野について調査・検討し、実証の支援を行う。 【指標廃止の理由】 イベント・セミナー等への来場者数は、活動指標に近		
			企業への具体的に表して、 接、複数企業によった でして、 がして、 がたなどジネ	の創出に向けた 取組実績(イベント・の来場者 数)	2, 353人 (H25年 度)	実績	0	Д			3,000人 (毎年 度)							不場有数は、冶動指標に近く、成果を測るのに不十分であるため廃止する。		
				※指標廃止		達成率	0.0	%												

<u> </u>															
	<b>(</b> Plar	] =		o】 実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号 ・施策名 No. SDGs 基本計画の施策 ・施策名 さ構成する 主な事業・取組概要 事業・取組概要	W. 1= 5. 44		笑評価の成果指標 			由期	成果の 方向性	R2年度		一串未貨	人件費 (目安) 全類	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	強化・見直した内容
	指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	中期目標	)) I+) I±	予算額 (千円)	予算額 (千円)		金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
と を支 入経経こ中ル を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	補助金採択社数	_	目標実績達成		単年度目標設定なし	110社 (R2~R5 年度累 計)			70, 000		11, 050	_	令和2年度から実施している「デジタル化サポート事業」をDX推進に資する事業として発展させる。		
化等を強力に推進する。	セミナー、講座 の参加人数(単 年度) ※指標廃止	25人 (H26年 度)	国標 30 人			30人(毎年度)							市内サービス事業者の生産		
Ⅳ-2- (2)-④ サービス産業 への支 援の充 実 33 8 8 #サービス産業の 生産性向上のための啓発や具体的なこ 産業 サービス産業の が大 により、活動を支援市内 とにより、電業の サービス産業の とにより、電子 サービス産業の とにより、電子 サービス産業の とにより、電子 サービス産業の とにより、電子 カービス産業の カービス とにより、電子 カービス産業の カービス とにより、電子 カービスを カービスを カービスを カービス カービス カービス カービス カービス カービス カービス カービス	<b>从旧水</b> , <b>在</b>		達成 153.3 % 率 目標 7 社		7 社		- 継続	3, 285	3, 164	維持	10, 800	大変順調	性向上に関する意識向上を図るため、関係機関と連携し、引き続き具体的取組み支援を行う。 【指標廃止の理由】 セミナー、講座の参加人数 は、活動指標に近く、成果を 測るのに不十分であるため廃	大変順調	クラウドサービスの導入に よる成功事例や効果的なツー ル等に関する情報発信を通じ て、引き続き関係機関と連携 し市内サービス産業の生産性 向上に取り組む。
	市内サービス事 業者に対する取 組み支援件数	5社 (H26年 度)	実 10 社			7社 (毎年 度)							止する。		
			達 成 142.9 % 率												
生産者、消費者、飲食・販売店、加工製造の各サポーターへの情地元産 報提供等に努める	古主に笙の町主		目 15.8 億標	16 億円	17.5 億円								地産地消の推進を図るため、海の幸、山の幸を愛する 地産地消サポーターの活動促 進の強化を行う。また、市内 産農林水産物の消費宣伝の拡		地産地消の推進を図るため、海の表も出れる表を受する。
地元産 品の6 次産業 34 (位) が、地元いちば が、地元いちば が、地元いちば が、とともに、各 か で、他を地消 が が、他を地消 が が、他を とともに、各 か で、他を で、一 ター間の で、他 後 で、 の に を も の まった か で まった か の まった か か か か か か か か か か か か か か か か か か か	直売所等の販売 額 ※中期目標改訂	14億円 (H23年 度)	実 18.3 億			20億円 (R5年 度)	継続	3, 338	5, 080	その他	12, 300	順調	充のためのパンフレットやイベント開催を行う。   【中期目標の変更内容】   中期目標を16億円(R2年	順調	め、海の幸、山の幸を愛する 地産地消サポーターの活動促 進の強化を行う。また、市内 産農林水産物の消費宣伝の拡 充のためのパンフレットやイ ベント開催を行う。
推進 食材の試食、販売等の広報活動を行う。			達 成 115.8 % 率										度)にしていたが、R2年度実績が16億円となり、すでに中期目標を達成したため、20億円(R5年度)に変更。		· 2 1 加胜C11 2 0

						(Plar	າ】	画	/	[Do	実施									【Check】 評価		【Action】改善
策番号	No. 3*-	OGs ₹	基本計画の施策 基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 果名	事業・取組概要			<b>美評価</b>			(目標・実績)		_L_ #n	成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
施策名	番-	号 -	主な事業・取組   詩	所管 果名	<b>于</b> 术 机恒旭文	指標名等	現状値 (基準値)		R1年原	度	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等
						市内で新規就農		目標	29	件	40 件	42 件										
						した者 ※中期目標改訂	8.8% (H22年 度)	棋	35	件			45件 (R5年 度)							中期目標を達成したところであるが、更なる事業推進を図るため、関係諸機関(県・農業委員会)との情報交換や連携を強化していく。		
	35 8	3 3 月	人づくり担い 農 手対策事業 課	₹	新たな農業従事 者の育成や、営農 組織・認定農業者 等への経営診断及 び活動東機会と			達成率	120. 7	%				─ 継続	11, 209	17, 129	その他	9, 150	大変順調	【中期目標の変更内容】 新規就農者数については中期目標を40件(R2年度)にしていたが、R2年度実績が40件となり、すでに中期目標を達		
					行い、農業分野に おける担い手を育 成・確保する。	本市日標所得を		標	28	%	37 %	40 %								成したため、45件(R5年度) に変更。 本市目標所得を達成した認 定農業者の割合については中 期目標を37%(R4年度)にし ていたが、R2年度実績が37%		
-2-						本市目標所得を 達成した認定農 業者の割合 ※中期目標改訂	36. 9% (H30年 度)	実績	37.7	%			45% (R5年 度)							となり、すでに中期目標を達成したため、45% (R5年度) に変更。		人づくり担い手事業にて ては、農業者の経営改善るため、制度等の理解の2
2の水の基整担の を 1								達成率	134. 6	%											順調	るため、制度等の理解のなる浸透が必要である。 有毛浜田地区ほ場整備型については、効率の良いは整備の実現に向け、地元は者の100%合意を得るため、
手の成					北九州市の農業 形態に即したス マート農業の導入 を図るもの。			目標				1 件								国の進めているスマート農		業規模の縮小も視野に入れ交渉を進めていき、国やり関係機関との協議に向けた本設計の修正作業を行う。
	36 8	8	<新>未来の 農業スマート 比推進事業		農業のスマート 化が進んでいない 農業現場におい 民、関係機関で構 成される協議会を 立ち上げ、3ヵ年	実証事業主体数	_	実績					4件 (R5年 度)	_	_	500	_	8, 115	_	業を本市の有する最先端の工業技術を活用して、種々の課題を解決しながら新たな農業の展開を進める。		
_					計画で事業を進める。			達 成 率													_	
					若松区有毛浜田 地区において、農 業の生産基盤とし てほ場整備を行 い、耕作放棄地の			標	_		_	_								効率の良いほ場整備の実現に向け、地元地権者の100%		
	37	1)   <b>1</b>	有毛浜田地区 農 ま場整備事業 課		業の生産基盤としいます。 場では場合では、 場では、 場では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	基盤整備面積 (ha)	0ha (H30年 度)	村具	0	ha			4. 5ha (R5年 度)	継続	0	0	維持	6, 325	遅れ	合意を得るため、事業規模の 縮小も視野に入れ、交渉を進 めていき、国や県等関係機関 との協議に向けた基本設計の 修正作業を行う。		
					収益作物への転換 を行う。			達 成 率	_													

<b>医果</b> 粒	沙门 问			[D]	_1 =⊔	Lite	/ 1	'Dal	ᆂᄹ									[Chaola] == I/F	,	【A ation】 과主
		-   -   -   -   -		(Plar		十画 ************************************		Do]	実施				D2左章	D2左左		人件費	D1 /= ==	【Check】 評価	D1 /= -	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. SDGs 基本 新一儿 番号 主	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組 課名	事業・取組概要	指標名等	現状値(基準値)	長部1四	iの成果指 R1年度		隠・美領♪ R2年度	R3年度	中期目標	成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	予算額 (千円)	一十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	賃 強化・見直した内容
		px-11	管理されていない竹林の増加により、森林景観の悪化や保水力の低下による災害の危険		(坐十吧/	目標	400	t 4	.00 t	400 t			(111)	(111)		(111)	27.00		2112	
	38 9 が 事	牧置竹林対策 農林 事業 課	性が問題となっている。このようない林の拡大防止のため、管理竹林への再生を行う。	活用された竹材量	_	実績	133	t			400t (毎年 度)	拡大	25, 115	35, 415	増額	1, 480	やや 遅れ	森林環境譲与税を活用し、 引き続き竹伐採の効率化や補助制度の周知を行い、目標数量の達成に向け大量かつ安定 的な集材を行う。		
IV-2-			らに、竹の粉砕機 を市民に無料で貸 し出している。			達成率	33. 3	%												放置竹林対策については、 引き続き事業の説明や広報活 動に取り組み、事業の周知を
(3)-③環境にした水の推進			と生 と生物を を生物を が水産性を と生いする が水産性を とも、 とも、 が水産性を でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる			目標	4, 300	t 4,	300 t	4, 300 t								沿岸漁業の漁獲量は全国的 に激滅しており、北九州市で	順調	に、市民に新鮮で安全・安心 な水産物を安定的に供給する ために、藻場や干潟の保全、 漁場の整備、魚介類の放流な
	39 14 進	里海づくり推 水産 進事業 課	境めり藻生魚をを営とまり、場、介行つのともでき、一様・漁類の、り定に、おり、のとのとのといいます。のは、のでは、のでは、のでは、のでは、いいので	市内水産物の年 間漁獲量	4,069t (H26年)		1月頃 公表予定	Ē			4, 300t (毎年)	継続	147, 178	121, 903	減額	25, 050	順調	も同様の状況である。 漁獲量の減少に歯止めをかけ成果目標を達成するためには、「藻場の造成」や「種苗放流」などの里海づくりの継続が不可欠であり国の補助金等も活用し、重点的に取り組んでいく。		どを継続して実施する。
			とともに、市民に新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給する。			達成率	_													
						標	340	五 3	60 千	380 千人										
			総合農事センターは、「農業の振興」の技力	総合農事セン ター入場者数	312千人 (H23年 度)	実績	310	Ŧ 人			400千人 (R4年 度)							総合農事センターを魅力あ		
IV-2- (3)-④ 農林水 産業民 の交流	40 ⑧ 5	総合 関 対 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	展集の技点」、「憩いの場の提りである。 「憩いの場の提りである。 は、本方針と業のでは、 に農業に関する。			達成率	92. 9	%				継続	58, 952	57, 854	維持	23, 450	順調	総合農事センターを魅力ある施設として農家・市民に広く利用してもらうため、指定管理者と連携した情報の発信や老朽化した施設の計画的な更新を進める。	順調	総合農事センターを魅力ある施設として農家・市民に広く利用してもらうため、指定管理者と連携した情報の発信や老朽化した施設の計画的な更新を進める。
市民と の交流	事	事務ター	振農「供しのに験な決か紹解し、接の基都をに、農研どの、介をて「点場本市図関展問をに、め営「市し深運」、大きの基本をに、農野との、介をでは、大きののでは、、大きののでは、、大きのでは、はいいは、はいいは、はいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はい			目標	77	% 7	78 %									【指標廃止の理由】 活動指標が成果指標に直接 的に結びつかないため、内容 を整理したもの。		や老朽化した施設の計画的な更新を進める。
			解を深める施設として運営する。	総合農事センターの認知度 ※指標廃止	72. 4% (H27年 度)	実績	72. 8	%			80. 0% (R4年 度)									
						達 成 率	94. 5	%												

						(Plar	า] 🖥	十画	/ [[	o】 実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No.	SDGs コ゚ール	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所課名	事業・取組概要		1		の成果指標	【(目標・実績	)	-t-#0	成果の 方向性	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	10.	番号	主な事業・取組	所管 課名	于水 - 10/10/1/00 又	指標名等	現状値 (基準値)		R1年度	R2年度	R3年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
	41	14)	水産物供給基 盤整備事業 (補助)	水産	漁業活動の効効 の効の が が が の が の が の の が の の の の の の	市内水産物の年 間漁獲量	4, 069t (H26年)	目標実績	4,300 t 1月頃 公表予定	4, 300 t	4, 300 t	4, 300t (毎年)	継続	163, 000	236, 200	増額	23, 750	順調	「漁港施設機能保全計画」 を基に、既存施設の長寿命化 と機能保全を図るとともに、 各施設の機能向上(就労環境		
			(Imeg)/		岸、航路、泊地、 桟橋、道路など) を整備する。			達成率	_										改善、防災機能強化等)に取 り組んで行く。		
							7.050-	目標	2, 961 F	2,873 円		2, 873 <del>1</del>	_								
					イノシシ・サルな	イノシシによる 農作物被害額 ※指標廃止	7, 252千 円 (H22年 度)	実 績 -	2, 593 <del>T</del>			円/年以 下 (R2年 度)	Į.						市民からの野生鳥獣による 相談件数の軽減には、野生鳥 獣を		水産物供給基盤整備事業については、既存施設の長寿命化と機能保全を図るとともに、各施設の機能向上(就労
	42	15)	有害野生鳥獣 袺 被害対策事業 ፯	鳥獣 被害 対策	どの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払い、			達成率	112.4 %	5			- 継続	11, 393	11, 200	維持	9, 700	順調	①近づけさせない、 ②侵入させない、 ③捕獲する、 の三つの対策の推進と、市民 に野生鳥獣の習性や対策を継		環境改善、防災機能強化等) 環境改善、防災機能強化等) に取り組んで行く。 市民からの野生鳥獣による 相談件数の軽減には、野生点 獣を近づけさせない、侵入の 世域ない、推獲する、の
N-2- (3)-5 農林の 産機制			ū	<i>.</i>	市民相談や現地対 応、市民啓発等を 実施する。		978件	標	1,000 件	- 1,000 件	1,000 件	1, 000件	=						続して啓発していく。 【指標廃止の理由】 正確な農作物被害額の把握 は困難であるため。		対策の推進と、市民に野生!  獣の習性や対策を継続して関係している。
の催 立、防 災機能						市民からの野生鳥獣の相談件数	(H26年 度)	実績達成	1, 115 件			年以下 (毎年 度)								順調	農作物生産振興対策については、県・JA等の開催期間と農業生産工程管理(GAP)に取組んでいない農家、生産総織に対し必要性の理解を深める積極的な取組みを行い、農
の強化								成 率	88. 5 %												る積極的な取組みを行い、原作物の安全性の更なる向上で図っていく。 ため池緊急防災体制整備が
					農業者が農薬に	農作物の安全・		目標	58.0 %	60 %	60 %								令和元年度の成果指標の実 績で、GAPに取り組む生産組		進事業については、国による 農業水路等長寿命化・防災派 災事業等の制度が拡充される ことから、これらの制度を有
	43	12)	農作物生産振 興対策事業 記	農林 課	関する正し、海に、知正に使用し、安全する生産物を生産がある。	安心権株(dAr [農業生産工程 管理」に取り組 む生産組織の割 合)	12% (H27年 度)	実績	51.6 %			60% (R5年 度)	継続	861	1, 261	増額	6, 150	順調	織の割合が、目標より若干下 回っているが、生産組織が GAPの重要性を理解してお り、今後も、この取り組みを 継続していく。		効に活用し、ため池の安全性 の向上を図る。
								達成率	89.0 %	5									神色物にしていて。		
					<b>近在柜</b> 路+ ₹ +			目標		55 件	45 件								国による農業水路等長寿命		
	44	11)	ため池緊急防 災体制整備促 進事業	農林課	近年頻発するため池の老朽化等を 原因とする災害を 防止する。	監視カメラや水 位計等の観測機 器の設置件数	0件 (R1年 度)	根				100件 (R5年 度)	_	213, 300	97, 100	減額	6, 325	_	化・防災減災事業等の制度が 拡充されることから、これら の制度を有効に活用し、ため 池の安全性の向上を図る。		
								達成率													

					<b>(</b> Plar	n】 計	·画 / 【D	o】 実施							<b>(</b>		[Check]	評価	/	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 雪子	Gs 基本計画の施策 ・ル を構成する ・ラ 主な事業・取組	主要業所開	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	評価の成果指標 R1年度	(目標・実績) R2年度	R3年度	中期目標	- 成果の 方向性	予算額	R3年度 予算額	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方)	容	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
IV-3- (1)-① 中小企 業の人 材不足 への対		2077		地元企業情報の 提供・マッチング の機会の創出、地	1日本日 4		目 1,820 人		1,820 人			(千円)	(千円)		(千円)	<u>=+1µ</u>	新型コロナウイルス原の感染防止対策を講じな	感染症	順調	中小企業の人材不足に対応 するため、新卒をはじめ即戦 カ人材や、市外からのU・I ターン就職希望者の市内就職 の促進を図る。 また新型コロナウイルス感
応	45 (8	合同会社説明 会等開催事業	雇用政策課	元企業を行い、 一大の若年の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大の 一大	合同会社説明会 参加者数	1, 682人 (H26年 度)	実績 784 人 達成 43.1 %			1, 820人 (R3年 度)	継続	18, 967	19, 640	維持	11, 200	やや 遅れ	ら、合同会社説明会の開 ら、合同会社説明会の開 行い、引き続き企業とす のマッチングの機会の創 図る。	開催を 求職者		染症拡大による雇止め・解雇 を受けた失業者の再用した をはじめ、WEBを活用した 業の採用支援の取 していく。 、外国人材につい市 る留学生などを中心にする 企業への就でとまる相談対 を よっ、専門家による は も、ボース が も、ボース が は は も、ボース が は が は が は が が が が が が が が が が が が が
	46 @	北九州で働こう・1 リ・1 プンル・1 リンボター ジェクト	πел	マにのや紹合 等を学り の職地報談支施若へる対職の 本一対求職等にた地進等ン充 本一対求職等にた地進等ン充 本の職地報談支施若へる対職図 を表示の、援す年のたす活る を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、援す年のたす。 を表示の、関係を表示。 を表示の、表示。	U・Iターン就職 者数(累計)	766人 (H27~ H30年 度)	目標 1,000 人 実績 987 人 達成率 98.7 %		480 人	1, 200人 (R2~R6 年度)	3 継続	23, 781	24, 511	維持	7, 875	順調	3年間で1,000人の就取の目標に向け、着実に向け、着実に向けて、動物である年度に向けて、から移住までワン、まであるともでするともに表した。 がいるでするともになるという。 がは、伴走支援を強化するという。 がは、伴走支援を強化するという。	実績 就プロマース ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ま		は、 な、 まに、 のまっく、 で、
	47 €	民間転職サイト活用U・I ターン促進事業	雇政課	ス転 希体企転す 進市市ス転 希体企転す 進市市	市内企業への就職決定者数	21人 (H30年 度)	目標 50 人 実績 26 人 達成率 52.0 %		50 人	50人(毎年度)	継続	11, 000	12, 000	増額	7, 875	やや遅れ	新大学 が成立 が成立 が成立 が成立 が成立 が成立 が成立 が成立	希変組にて責制・採望しみ向い極内にない。 はんかん はんかん はんかん はんかん はんかん はんかん はんかん はんか		

				(Plai	n] i	t画 / 【Do	o】 実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
·号 No	SDGs	基本計画の施策 ・ を構成する ・ 主な事業・取組 課	要 業 事業・取組概要		事美	業評価の成果指標	(目標・実績)	)		成果の 方向性	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
名 100.	番号	主な事業・取組 所課	管	指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等
10		外国人材就業 世ポート事業 課	外国人材就業サポートセンター連 ポートセンター連 営事業や海外の連 携大学等との交流 事業の実施によ	市内企業と留学 生とのマッチン グ件数 ※指標追加		目標実績達成率		20 件	20件 (毎年 度)		14 270	13, 939	維持	16 670		コロナ禍により、外国人の 出入国が制限されたこと、 内企業の外国人材活用の抑制 等により、十分な成果を上げ られなかった。 令和3年度は、「外国人材 就業サポートセンター運営事 業」と、「海外大学生市内合 小企業就職促進事ととも		
70		サポート事業に課	用策 の の に業事り就職を を の の の の の の の の の の の の の	留学生サポート プログラム参加 学生数 (1回あたり) ※指標廃止	_	目標実績達成変	65 人		65人 (毎年 度)		14, 370	10, 303	WE 17	10, 070		では、 家学生であれて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では		
49	8 (8)	コロナ禍における早期再就職支援事業	市 市のセッ増再期職た繋不ンは得る 市のセッ増再期職た繋不ンは得る 大談就支失就正すのめへ求のを でででいるでである。 ではいるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	就業支援施設(若者ワークプラザ北九州、高年齢者就業支援センター)の就職決定者数	_	率目標実績達成率		2,000 人	2, 000人 (毎年 度)	_	_	37, 000	_	7, 875	_	早期の再就職・正規就職を 支援するために、製造、建 設、介護等の人手不足業種へ チャレンジする求職者につい て、短期の資格取得や職場 、さらに 踏み込んだ支援を行う。		
50	8	コロナ禍における新卒者地元就職強化事業	に支職市て説説イが供 で支職市て説説イが供 を を を を を を を を を を を を を	市内企業への新卒就職者数	4, 106人 (R1年 度)	目標実績達成率		4,300 人	4, 600人 (R6年 度)		_	14, 000	_	3, 075	_	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職活動や企業の人材確保については、WEB化が急速に進んできたことを受け、企業の採用支援と学生等の就職支援をWEBを活用して行うもの。		
51	58	ものづくり中 小企業女性等 企 職場環境改善 支援事業 課	い業 もの女材援中設設を が性保る小業備室設が環組な成 が一次でのを市者性レ室とすいに、部 が一次でのを市の世界のでの性場の要別での性ではでいる。 がでのをでのをでのでのでのでのでのででのででのででのででのでででいる。 がでのをでのでのででのででのででのででのででいる。 が業権をできるでいる。 が業権をできるできる。 が業権をできるできる。 が、このででのできる。 が、このでは、のででのできる。 がでのででのででいる。	助成金を活用する企業数(累計)	13社 (H29~ H30年 度)	目標 6 社 実績 6 社 達成率 100.0 %	6 社	7 社	6社 (毎年 度)	継続	3, 014	3, 514	増額	3, 075	順調	企業ニーズ等を踏まえ、予算を増額し実施。 「女性及び高齢者の作業を で女性する機器ののの人のでである。 「女性する機能をできるがいるののののののののののののののののののののののののののののののののののの		

						(Plai	า] 📑	一画	/	[Do	実施							<b>—</b>		【Check】 評価	i /	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 部	Gs 基本計	画の施策 成する 業・取組	主要事業所名	事業・取組概要		1		画の成果:	指標	(目標・実績)		_1 11=	成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年月 局施第	度 R3年度に向けて 策 強化・見直した内容
	番	号主な事	業・取組	所管 課名	<b>于</b> 木 - 以心似安	指標名等	現状値 (基準値)		R1年原	叓	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価	[ (課題に対する改善方法等)
Ⅳ-3- (1)-② 地域企 業の ニーズ に沿っ					本市へのU・I ターン就職希望者 に対する地元企業 の求人情報の提供			目標	1, 000	人	240 人	480 人								3年間で1,000人の就職者数の目標に向け、着実に実績で		財 地域企業の人材ニーズは、 高校生や大学生をはじめ転職 者も含めた広い範囲に及んでいる。 新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、若者
た人材	52 (8	北九州 う!U シに接 ジェク	で働こ •   ター ፥ プロ <sup>•</sup> ト	雇用政策課	また、若年人材 等の地元への還流	U・Iターン就職 者数(累計)	766人 (H27~ H30年 度)	実績	987	人			1, 200人 (R2~R6 年度)		23, 781	24, 511	維持	7, 875	順調	重ねてきた。 令和3年度に向けて、就職 から移住までワンストップで 相談できるよう、業務内容で 拡充するとともに、人材ニーズの開拓や採用提案を行うが	5	ワークプラザやU・Iターン応援オフィスといった相談窓口での支援や求人の開拓などを実施していく。 また、地元就職促進に向
					を促進するため、 学生等に対するU・ Iターン就職活動支 援の拡充を図る。			達成率	98. 7	%										ど、伴走支援を強化する。		け、地元企業へのインターン シップにも積極的に取り組ん でいくとともに、新型コロナ ウイルス感染症防止のため、 これまで実施してきたバスツ アーからオンラインでの企業
					若年者の就業支援の拠点として 「若者ワークプラ			目標	1, 200	人	1,300 人	1,300 人								新型コロナウイルス感染症 拡大の影響による雇用情勢の		PRに手法を変えるなどの見直 しを図る。 さらに、外国人材について も、留学生などを中心に市内 企業への就職促進を支援する よう、専門家による相談対応
	53 (8	若者ワ シラザ北 営事業	リークプ ご九州運 E	雇用 政策 課	ザ北九州」及び 「若者ワークプラ ザ北九州・黒崎」 において、就業相 談、セミナー、職 業紹介等を実施	就職決定者数	1,360人 (H30年 度)	実績	1, 200	人			1,300人 (毎年 度)	継続	80, 109	80, 415	維持	8, 995	順調	悪化を踏まえ、より丁寧なたウンセリング対応や、新たた就活様式に対応したセミナーを行うなど、状況の変化によりでスピード感のある支援を	] - -	なり、毎日家による相談対心 やマッチング支援なども推進 してしていく。
					し、若年者の就業を促進する。			達成率	100.0	%										行っていく。		
					市内就職を希望する学生と企業と			目標	330	人	345 人	360 人								地元就職促進のため引き		
	54 (8	インタ シップ 事業	· ーン 『等推進	雇用政策課	のマッチングを体 系的に推進するこ は職及び地元企業 の人材確保につな	インターンシッ プ参加者数	223人 (H30年 度)	実績	284	人			400人 (R6年 度)	継続	10, 000	10, 000	維持	3, 200	順調	され、場でによりによりできる。 きインターンシップに注注でるほか、コロナ禍での停滞で 防ぐため、参加企業に対しスンラインインターンシップを 施を働きかけていく。		
					げる。			達成率	86. 1	%												
					九州・山口一円の大学・高専・エ			目標	500	人	710 人	720 人										
	55 (8	九州・円の学応援フト	山口一 生就職 プロジェ	雇用政策課	大きいます。 大きいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	市内企業への就職決定者数	680人 (H30年 度)	実績	765	人			750人 (R6年 度)	継続	6, 000	4, 000	減額	4, 325	大変順調	新型コロナウイルス感染物の影響を踏まえ、バスツアーからオンラインでの企業PRI手法を変えること等、手法の見直しを図る。	-	
					する機会を創出 し、市内就職や市 内還流を図る。			達成率	153. 0	%												

				(Pla	n】	·画 / 【Do	) 実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/	【Action】改善
·号 No	SDGs	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	要 業 事業・取組概要		事業	禁評価の成果指標	(目標・実績)	)		成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて	R1年度 局施策	R3年度に向けて
名 100.	番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組 課	管	指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	中期 目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等
56	8	民間転職サイト活用U・I 雇政: ターン促進事業	用策 社向サェ者活の支こ一る転流出 動でト等集し人情で就と希を 動でト等集し人情で就と希を が、や、ま、情報、りやRI で就とうを職出 でいまる市報をしまに者制 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	表 本 市内企業への就 職決定者数	21人 (H30年 度)	目標 50 人 実績 26 人 達成率 52.0 %	50 人	50 人	50人 (毎年 度)	継続	11, 000			7, 875	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症 拡大を機に、地方移食の が増加したことや、急組の が増加したことやした取職に が増加したことが が要でもまるため、転職に をあるとを起して で を新規 を が と と も に 、 市 、 下 の を が と と も に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
57	(8)	外国人材就業 歴 世 世 世 世 世 世 世 世 世	外国人材就業 サポートセンタの選 当事業学等との交流 携大学の実施によ		_	目標実績達成率		20 件	20件 (毎年 度)		1/1 370	13, 939	<b>维</b> 持	16 670		コロナ禍により、外国人の 出入国が制限されたこめと 内企業の外国人材活用の 等により、十分な成果を上げ られなかった。 令和3年度は、「外国人材 就業サポートセンター連内内 就業サポートセンター 東連内合 、「海外大学生を統 、「企業就職促進事業」とと 、「本外ととし、		
37	0	外国人材就業 世ポート事業 課	で り、市内企業への 就職を目指す留学 生や海外大学を支援 の受け入れを支援 する。		_	目標実績達成率	65 人		65人 (毎年 度)		14, 370	13, 939	<b>花子</b>	16, 670		に、事業効率化を図るとともに、留学生等の市内企業への 就職促進を重点的に支援トよう、専門相談やサポーグラム参加企業と留する。 のマッチングを推進する。 【指標廃止・追加の理由】 事業の統合に合わせて見直 したもの。		
58	8	コロナ禍にお ける早期再就 職・正規就職 支援事業	田策 が、 員者計員。職人・者格が 大成業一少し職代支早る業す短援 大成業一少し職代支早る業す短援 大成業一少し職代支早る業す短援 大の後期た種る期等 でのを表現た種る期等 でのを表現である。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	が 就業支援を 就業者の 大変を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	_	目標実績達成率		2,000 人	2, 000人 (毎年 度)		_	37, 000	_	7, 875	_	早期の再就職・正規就職を 支援するために、製造、建 設、介護等の人手不足業種へ チャレンジする求職者に て、短期の資格取得や職場 験等を実施するなど、さ 踏み込んだ支援を行う。		
59	8	コロナ禍における新卒者地元就職強化事業	田策 で学生目を実際する会で会る に採びいた。 で学生目を実際オナと場 で学生目を実際オナと場 で学を明企で会る。 で学を見をできる。 で学を見るのできる。	え 表 市内企業への新 卒就職者数 ・	4, 106人 (R1年 度)	目標 実績 達成率		4,300 人	4, 600人 (R6年 度)		_	14, 000	_	3, 075	_	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職活動や企業の人材確保については、WEB化が急速に進んできたことを受け、企業の採用支援と学生等の就職支援をWEBを活用して行うもの。		

				<b>(</b> Plar	n】 🗄	画	/ [[	Do]	実施									【Check】 評価	/	【Action】改善
番号 策名	SDG: )。」*: 番号	基本計画の施策 主要 ・ 本構成する ・ 主な事業・取組 課名	事業・取組概要	指標名等	事 第 現状値 (基準値)	<b>美評価</b>	の成果指 R1年度		標・実績 R2年度	) R3年度	中期目標	□ 成果( 方向(	()	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
一つ者業のや		p/\ L	若年者の就業支援の拠点として 「若者ワークプラ			目標		人 1,	300 人	. 1,300 人			(113)	(113)		(113)		新型コロナウイルス感染症 拡大の影響による雇用情勢の	順調	地域企業の人材ニーズは、 高校生や大学生をはじめ転職 者も含めた広い範囲に及んでいる。 新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、若者
開	8 0	若者ワークプ 雇用 ラザ北九州運 営事業 課	において、就業相 談、セミナー、職 業紹介等を実施	就職決定者数	1, 360人 (H30年 度)	· 実 績	1, 200	٨			1, 300人 (毎年 度)	継続	<b>80, 109</b>	80, 415	維持	8, 995	順調	悪化を踏まえ、より丁寧なカウンセリング対応や、新たなより丁寧ななが、新たな就活様式に対応したセミナーを行うなど、状況の変化に応じてスピード感のある支援を行っていく。		ワークプラザやU・IターンI援オフィスといった相談窓での支援や求人の開拓など実施していく。 また、地元就職促進に向
			し、若年者の就業を促進する。			達成率	100.0 9	%										11 2 60.40		け、地元企業へのインタージャップにも積極的に取り組っていくとともに、新型コロウイルス感染症防止のため、これまで実施してきたバストン・シャックを
	1	北九州で働こ 雇用 以応援プロ 政策	本市へのリ・Iターが、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では	U・Ⅰターン就職	766人 (H27~	目標実			240 人	480 人	1, 200人	A All A	t 00 701	04 511	<i>«</i> # ++	7 075	NE SE	3年間で1,000人の就職者数の目標に向け、着実に実績を重ねてきた。 令和3年度に向けて、就職		PRに手法を変えるなどの見てした図る。 した図る。 さらに、外国人材についても、留学生などを中心に市で企業への就職促進を支援する。
6	1 (8)	グ応援プロリンに援プリンに援プリンに援プリント	合的に実施する。 また、大の地元への環流 を促進するため、 学生等に対するU・ Iターン就職活動支 援の拡充を図る。	者数(累計)	H30年 度)	(績 達成:		%			(R2~R6 年度) —	<b>)継</b> 粉	表 23, 781	24, 511	維持	7, 875	川東調	から移住までワンストップで相談できるよう、業務内容を拡充するとともに、人材ニーズの開拓や採用提案を行うなど、伴走支援を強化する。		やマッチング支援なども推りしてしていく。
			市内就職を希望			目標	330	人 3	345 人	360 人										
62	2 8	インターン 雇用 シップ等推進 政策 事業 課	就職及び地元企業 の人材確保につな	インターンシッ プ参加者数	223人 (H30年 度)	実績	284	٨			400人 (R6年 度)	継続	<b>.</b> 10, 000	10, 000	維持	3, 200	順調	地元就職促進のため引き続きインターンシップに注力するほか、コロナ禍での停滞を防ぐため、参加企業に対しオンラインインターンシップ実施を働きかけていく。		
			げる。			達成率	86.1	%												
		九州・山口一 戻田	九州・山口一円の大学・高専・工業の大学・と連携職と		600 1	標	500	人 7	/10 人	720 人	750 1							新型コロナウイルス感染症の影響を踏まる。バスツアー		
63	3 8	用・山口 円の学生就職 応援プロジェ クト	業しや情とやすしれる。 ・ 本らをにの様った。 ・ 本らをにの様のなり、 ・ 本らをにの様のなりでは、 ・ はないでには、 ・ はないでは、 ・ はないではないでは、 ・ はないではないでは、 ・ はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	市内企業への就 職決定者数	680人 (H30年 度)	達		۸			750人 (R6年 度)	継続	先 6,000	4, 000	減額	4, 325	大変順調	の影響を踏まえ、バスツアーからオンラインでの企業PRに 手法を変えること等、手法の 見直しを図る。		
			内還流を図る。			成 率	153. 0	%												

				(Plar	n]	画 /	<b>[</b> Do	実施							<b>—</b>		【Check】 評価	/ 【Action】改善
施策番号 施策名	SDGs 基本 No ゴール を	計画の施策 構成する 事業・取組 事業・取組 課名	事業・取組概要		1	(評価の成	果指標(	(目標・実績	)		成果の	R2年度		一十十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1年度 R3年度に向けて 局施策 強化・見直した内容
・施策名	番号主な	事業・取組 所管 課名	一	指標名等	現状値 (基準値)	R14	年度	R2年度	R3年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法等)	評価(課題に対する改善方法等)
	64 ④ ③ ① ① ① 取支援	ナ禍にお 早期 東規 東 東 業	市のは、	就業支援施設 (若者ワーク ラザ北九州、支 年齢者就業での で で で で で で が と で が と で が と で が き が き が き が き が き が き が き が き の の の の	_	目標 実績 達成率			2,000 人	2, 000人 (毎年 度)	_	_	37, 000	_	7, 875	_	早期の再就職・正規就職を 支援するために、製造、建 設、介護等の人手不足業種へ チャレンジする求職者につい て、短期の資格取得や職場体 験等を実施するなど、さらに 踏み込んだ支援を行う。	
	4 (4) ける 元就 業	ナ禍にお 雇用 新卒者地 政策 職強化事 課	応支職市て説説イが供 は援支内い明明ン出す に採のに施会研ン企を は接援採用企業界オン企を を受きをの研ン企を は、し社でので会え は、したでので会え は、したでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでいる。	市内企業への新卒就職者数	4, 106人 (R1年 度)	目標 実績 達成率			4,300 人	4, 600人 (R6年 度)	_	_	14, 000	_	3, 075	_	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職活動や企業の人材確保については、WEB化が急速に進んできたことを受け、企業の採用支援と学生等の就職支援をWEBを活用して行うもの。	
Ⅳ-3-3やをし高者害る就進	3 高年 4 支援 8 運営	齢者就業 雇用 センター 政策 事業 課	高年齢者就業を支点者就業をはいる。高年からのでは、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名では、一名	中高年齢者の就 職者数(累計)	3,543人 (H27~ R1年度)	達	0 人 3 人 1 %	700 人	1,400 人	3,500人 (R2~R6 年度)	継続	31, 864	31, 800	維持	6, 170	順調	新型コロナウス に 戸、て年者 の の ら 畑中 い けっと で か か り で が り で が り で が り で で が り で で が り で で が り で で が り で で が り で で で で	順調 ボカー では できない できない できない できない できない できない できない できない
	67 ③ セカ 67 ③ リア	ンドキャ 雇用支援プロ 政策	地方創生・エスターと 接員が、当者を強い でして、発生のでする。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 では、 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がはまれた。 はなななな。 はなななな。 はななななななな。 はなななななななななな	首都圏等におけるセカンドキャ リア転職希望がな	368件 (H30年 度)	目 100 標 470		100 件	200 件	300件	継続	12, 680	7, 000	減額	2, 210	大変	シニア層の経験や能力を踏 シニア層の経験や能力を を を を を を を を が に し つ な が に の を と で 、 と 世 代 に が る 充 、 く 世 代 に し て 拡 来 に 、 く て ば 来 に 、 く て に 、 は 、 く て に 、 く て に 、 く て 、 く て 、 く て 、 と て 、 く と て 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と と 、 と 、 と と 、 と と と 、 と	シェアリングの考え方等を企業に提案するとともに、シニア層が働きやすい求人を開拓することで、雇用のミスマッチ解消を図っていく。
	67 ③ セカリア ジェ	クト 課	問し、潜在的ニーズを発掘するなど機能を強化する。	める人材との年 間仲介件数 ※中期目標改訂	度)	達	0 %			度)						順調	ズを発掘し、U・Iターン就職増加に繋げていく。 【中期目標の変更内容】 200件(R3年度) R1年度の実績やR2年度の進捗状況をふまえて、R3年度の目標値を上方修正(100件→200件)したもの。	

				<b>(</b> Plar	n] =	一画	/ [	(Do)	実施									[Check]	評価	/	【Action】改善
施策番号 施策名	No. SDGs 基本計画の施策 で構成する 音号 主な事業・取組	主要事所管課名	事業・取組概要			<b>美評</b> 信			目標・実績)	D0 5 -	中期	成果の方向性	R2年度 予算額	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 全類	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直したり	C 内容	R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
<i>115.</i> To	一	課名		指標名等	現状値 (基準値)		R1年度		R2年度	R3年度	中期目標	73 1-3 1.	(千円)	(千円)	072676	金額(千円)	評価	(課題に対する改善力	5法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
			シニア層が働き			目標			50 件	50 件								   引き続き、シニアの	) <b>–</b> — <b>7</b> "		
	68 ③ ② やすいお仕事 開拓事業	政策課	ミスマッチを解消 することで、高年 齢者の就業率向上	企業への働きか けによるシニア 向け求人開拓数	_	実績					150件 (R2~ R4年 度)	継続	4, 638	4, 632	維持	3, 960	_	にあった短時間勤務や 業の切り出しなどを企 案するとともに、令和 は、人手不足の業種も 入れた開拓を行ってい	・軽易作 ・業に提 13年度 ・視野に		
			を図る。			達成率														1175 - 57	
IV-4- (3)-① 国内外 からの 観光の						目標	300	件	300 件	300 件										順調	国際会議誘致等MICE事業の 推進においては、感染症やス ンラインに対応した新たなり 成制度を創設し、情勢の変化にあわせた支援を連やかに行
推進			+ .° >1>.4	MICE開催件数	183件 (H20年 度)	実績	341	件			300件 (R5年 度)							新型コロナウイルス 拡大の影響によって、 催は変化の局面を迎え	MICE開 てい		うことで「国際MICE都市北京州」を目指す。 観光振興推進事業についる は、本市の観光スポットを 心して選んでいただけると
	8 国際会議等 MICE事業の推 推	MICE 推進	キーパーソン等 へ本市の優位性 (アクセス・施 設・助成金)などの をPRすると			達成率	113. 7	%				- 継続	164, 720	157, 920	維持	12, 400	順調	る。感染症やオンライ応した新たな助成制度し、情勢の変化にあれ援を速やかに行うこと際MICE都市北九州」を	ンに対 を創設 せた支 で「国		う、観光情報の整備やPRを行うとともに、ターゲットとするエリアや客層を絞り込み、効果的なプロモーションを行う。
	進	<b>I</b>	致活動を展開する ことにより、本市 での国際会議・大 会等のMICE開催を 目指す。			目標	22	億 円	25 億 円				,			,		す。 【指標廃止の理由】 成果指標の算定対象 指標の算定対象よりも	が活動		インバウンド誘致強化事業については、Withコロナ、 Afterコロナに対応した外国 人観光客誘致策として、オンライン商談会・FAMツアーな
				経済効果 ※指標廃止	_	実績	26	億 円			25億円 (毎年 度)							であり、活動指標の増連動性が薄いため。	道減との		どのデジタルを活用したプロモーションを実施する。
						達成率	118. 2	%													

					<b>(</b> Plai	n] i	十画	/ [[	00] :	実施									[Check]	評価	/	【Action】改善
策番号	SDGs	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事所管課名	事業・取組概要				西の成果指標	票(目標・	・実績)	)		成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内		R1年度 局施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
施策名 "	番号	主な事業・取組	所管 課名	于 不 4A/UIM 女	指標名等	現状値 (基準値)		R1年度	R2年	<b>F</b> 度	R3年度	目標	方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善力	法等)	評価	(課題に対する改善方法
							目標	2, 460	2,40	0 万人	現観光振興 プラン更新 時に設定											
					観光客数	2, 242万 人 (H23年)	実績	2, 420. 8				現観光 振興プラ 新時に 設定										
							達成率	98.4 %	6				_									
							目標	130		万 人		■現観光										
				エージェント等 へのセールスや観	観光客数のうち 宿泊者数	119万人 (H23年)		192. 9				振興プラ時に ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・							新型コロナウイルス のリスクを避けた新し のスタイルにおいて、	い旅行		
-	70 8	観光振興推進 事業	観光	光プロモーション の実施、本市の特性を活かした「産業観光」「夜景観			達成率	148.4 9	6				継続	61, 430	82, 902	増額	9, 150	順調	観光スポットを安心しでいただけるよう、観の整備やPRを行うととターゲットとするエリ	て選ん  光情報   もに、 アや客		
			LDK	光」の推進、観光 案内所等でのおも てなしの向上等に より、観光振興を 図る。			目標	976	976	億 円	現観光振興プラン更新時に設定	■ 現観光 振興プ							層を絞り込み、効果的 モーションを行う。 【指標廃止の理由】 事業の取組内容に適			
					観光消費額	888億円 (H23年)			意 ]			振興プ  ラン更  新時に   設定							標のみとするため。			
							達成率	137. 8 %	6				_									
					<b>支米和</b>	000 400	標	600,000 )	600, 0	00 人												
					産業観光客数 ※指標廃止	236, 420 人 (H23年)		集計中				60万人 (R2年 度)										
				オンライン商談			達成率	_	TO 40 -1	l, le ren	TB 40 VI, 1= 10											
				会などのデジタルを活用したプロ		69.1万	標		現観が プラン 時に	で振興 ノ更新 設定	現観光振興プラン更新時に設定	■ 現観光 振興プ							Withコロナ、After: に対応した外国人観光	コロナ ;客誘致		
	71 8	インバウンド 誘致強化事業	観光 課	宿泊助成や現地旅	外国人観光客数	人 (H30年 次)	美績					版典フ ラン更 新時に 設定	継続	55, 000	15, 000	減額	17, 400	_	に対応した外国人観光 策として、オンライン 会・FAMツアーなどの・ ルを活用したプロモー を実施する。	デジター		
				行社へのセールス を実施し、更なる 観光客誘客を図 る。			達 成 率															

産業経	- <i>17</i> 1 /				[Plar	n]	+画	/	[Do	 o】 実施							4		【Check】 評価	/	【Action】改善
<b>佐安子</b> 口		SDGs 基本計画の施策	主要							(目標・実績)	)		お田の	R2年度	R3年度	車業車	人件費 (目安)	R1年度	R3年度に向けて	R1年度	R3年度に向けて
・施策名	No.	SDGs 基本計画の施策 ゴール を構成する 主な事業・取組	主要事業所管理	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		R1年原	度	R2年度	R3年度	中期 目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	事業費の増減	金額(千円)	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							目標	300	人	60 人	120 人										
					リノベーション まちづくり事業 を通じての新規 創業者・新規雇 用者数(累計)	277人 (H27~ H30 年 度)	実績	320	人			300人 以上 (R2~R6 年度)									
	72	リノベーショ ② ンまちづくり 推進事業	商業・サビス	ノ法さや出れている。 一活、規定をは、 一が表すが、 一が表すが、 一が表すが、 一が表すが、 一が表すが、 一が表すが、 一が表すが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では			達成率	106. 7	%				→継続	15, 952	15, 414	維持	17, 950	大変順調	令和元年に実施したリノ ベーションスクールの題材物 件等の事業化へ向けた支援を 継続して行う。また、本取組 を通じて、まちづくりを実践		
		推進事業	産業政策課	心とによりのまれる 北区以外のまかいだされる 大させる取り を推進する。			目標	2	件	5 件	5 件							川民前	を通じて、またくりを実践できる「プレイヤー(民間事業者)」を発掘し、民間事業者のビジネスベースとしての取り組みを推進する。		
					リノベーション まちづくりにお ける事業化件数	5件 (H27年 度)	実績	6	件			5件 (毎年 度)									リノベーションまちづく 推進事業については、スク- ル別になる。
IV-4- (3)-2							達成率	300. 0	%												などにおいてまちづくりを 践できる「プレイヤー(民 事業者)」を発掘・支援す ことで、まちの賑わい創出 図る。
(3にいりる交業充)がでいりる交業充のとよ客産拡							目標 6	00, 000	人	600,000 人	600,000 人									順調	日本新三大夜景都市と産 観光コラボレーション事業 ついては、新型コロナウイ ス感染症のリスクを避けた しい旅行のスタイルにおい て、本市の夜景観光・産業 光を安心して選んでいただ
					産業観光客数	236, 420 人 (H23年)	実 5	46, 806	人			60万人 (毎年)									でする。 を実施する。 産業観光については、企 の協力を得て多くの受入再 を目指すと共に、新しい商 の掘り起こしを行う。
	73	日本新三大夜 景都市と産業 観光シラン	夏 観光	本市及び北九州 都市圏域の世界遺 産・産業遺産や、 産業観光施設、夜			達成率	91.1	%				_ 紗結	15 000	15, 000	維持	7 650	順調	新型コロナウイルス感染症のリスクを避けた新しい旅行のスタイルにおいて、本市の夜景観光・産業観光を安心して選んでいただけるよう、観光情報の整備やPRを実施す		の掘り起こしを11 7。
	73	⑪ 観光コフホレーション事業	課	語産産業の 産業ポットの 産業ポットの でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで			目標	13, 000	人	13,000 人	13,000 人		<u> የተሞ</u> ላጋር	10, 000	10, 000	<b>小庄</b> ]寸	7, 000	川央 弘列	る。 産業観光については、企業 の協力を得て多くの受入再開 を目指すと共に、新しい商品 の掘り起こしを行う。		
					夜景観賞クルー ズ・ツアー等の 夜景観光客数	7, 000人 (H27年 度)	実績	7, 299	人			13, 000 人 (R3年 度)									
							達成率	56. 1	%												

<b>主業経</b>					<b>(</b> Pla	n] i	画	/	[Do	) 実施							4		【Check】 評価	1	【Action】改善
*****	SDO	Gs 基	基本計画の施策 車	要		事	<b>業評価</b>	の成果	指標	(目標・実績	)		成里の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度	R3年度に向けて	R1年度	R3年度に向けて
施策名	Vo. ゴー 番 <sup>:</sup>	ール 号 j	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組 誤	<sup>業</sup> 事業・取組概要 名 名	指標名等	現状値 (基準値)		R1年	叓	R2年度	R3年度	中期 目標	- 成果の 方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等
							目標	2, 460	万人	2, 460 万人	現観光振興 プラン更新 時に設定										
					観光客数	2, 242万 人 (H23年)	1 July 1 1	2, 420. 8	万人			現観光   振観光プ   新設更   設定									
							達成率	98. 4	%												
							目標	130	万人	130 万人	ノノノ史利	- TR 48 V									
				エージェント等	観光客数のうち 宿泊者数	119万人 (H23年)	美績	192. 9	万人			現観光 振興プラ 新時に 設定							新型コロナウイルス感染症のリスクを避けた新しい旅行		
	74 8	多額	見光振興推進 観	へのセールスや観ン 光プロモーショの特定 の実施、かしたで景観光」「後 業観光」「後 業観光」の推進の 光」の指述の			達 成 率	148. 4	%				- 継続	61, 430	82 902	増額	9 150	順調	のスタイルにおいて、本市の 観光スポットを安心して選ん でいただけるよう、観光情報 の整備やPRを行うとともに、 ターゲットとするエリアや客		観光振興推進事業につい は、本市の観光スポットで
	7 1 (1)	1) 事	事業 課	それが まり、観光振興を			目標	976	億 円	976 億 円	現観光振興 プラン更新 時に設定	■現観光	442.496	01, 100	02, 002		0, 100	NIX UP	層を絞り込み、効果的なプロモーションを行う。 【指標廃止の理由】		心して選んでいただける。 う、観光情報の整備やPR うとともに、ターゲット るエリアや客層を絞り込
-4- 3)-3 3スピ リ				図る。	観光消費額	888億円 (H23年)	)	1345. 4	億 円			- 現代元 - 振興プ更 - 新時に - 設定							事業の取組内容に適切な指標のみとするため。	順調	効果的なプロモーション う。 観光案内機能強化事業 いては、R2年度に移転リ
イの							達成率	137. 8	%												ニューアルした小倉駅の 案内所、及び駅構内や小が付近に整備したデジタルネージの機能を補完・強っるもの。整備済みのサイニ
							目標	600, 000	人	600,000 人											ジと統一感のあるデザイ するなど一体的なイメー くりを進める。
					産業観光客数 ※指標廃止	236, 420 人 (H23年)	) 実 績	集計	<del>‡</del>			60万人 (R2年 度)									
							達成率	_													
				小倉駅北口のコンベンション施設 等への誘導、駅南口での翻来施設や			目標			現観光振興 プラン更新 時に設定	現観光振興 プラン更新 時に設定								R2年度に移転リニューアル		
	75	3) 街 1) 引	現光案内機能 観 強化事業 課		観光客数	2, 242万 人 (H23年)	実績					現観光プラ時に	_	164, 000	15, 000	減額	5, 525	_	した小倉駅の観光案内所、及び駅構内や小倉城付近に整備 したデジタルサイネージの機 能を補完・強化するもの。整 備済みのサイネージと統一感		
				ペデストリアン デッキに観光案内 板(デジタルサイ ネージ)を整備す る。			達成率					設定							のあるデザインにするなど一体的なイメージづくりを進める。		

,	<u>済局</u>				[Plar	า] 🏻	十画	<u> </u>	Do】 実施	—————— 柘						4		【Check】 評価	/	【Action】改善
	enc	其木計画の施策	主要						票(目標・実				R2年度	R3年度		人件費 (目安)	R1年度		R1年度	R3年度に向けて
施策番号・施策名	No. ゴー 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所需	事業・取組概要	指標名等	現状値(基準値)		R1年度	R2年度		中期目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費員の増減	金額 (千円)	R1年度 事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
V-1- (2)-② 文允、 民住機		<新>黒崎応	商業サー	黒崎地区の活気 を取り戻すため、	黒崎地区商店街 エリアの空き店 舗率	19. 5%	目標	21.5	%	19.3	18.9% (R5年 度)							令和2年8月のクロサキメイトビル閉鎖に伴い、黒崎井筒屋、クエスト黒崎店をはじめ、多くのテナントが閉店、移転(統合)を余儀なくされ、黒崎駅周辺の賑わい創出にま		令和2年8月のクロサキメイトビル閉鎖により、黒崎駅周辺の賑わい創出にますます苦戦する中、商店街を中心とし
居能視副づ任をし都く	76 (8)	援プロジェクト事業	産業	令和3年度から黒崎 地区でのイベント 等に支援をする。		10, 279 人 (R2年 度)	/± 1	2, 310		10, 381	10, 587 人 (R5年 度)		_	7, 000		6, 150		まませていた。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おおります。 おいし、 おいし、 おいし、 おいし、 おいし、 おいし、 おいし、 おいし、		た集客力のあるイベントの開催、消費者のニーズを捉える 実証実験的な取り組み、商店 街主催イベントの支援等を積極的に行う。
			菇	遊休不動産をリ	リノベーション ショ ショ 新 利 を 通 者 数 ( 累 計 者 数 ( ス で の が う て の 新 親 た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	277人 (H27~ H30年 度)	実績			人 120 人	300人 以上 (R2~R 年度)	6						令和元年に実施したリノ ベーションスクールの題材物		
V-1- (2)-③ 未利用 地等の 活用	77 8	リノベーショ ンまちず 推進事業	同業サビ産政課・ 一ス業策	<ul><li>大法さや出他これが大を</li><li>一活、規る区に以にせ進り用新雇。展よ外ぎるすっし規用今開りのわ取るの再業をは行小ちを組める。</li><li>い再業をは行小ちを組める。</li></ul>	リノベーション まちづくりにお ける事業化件数	5件 (H27年 度)	目標	2 1		件 5 4	5件 (毎度)		15, 952	15, 414	維持	17, 950	大順 変調	一つの事業では、 一の事業行うでは、 一の事業では、 一の事業では、 一の事業でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	<b>大順</b>	黒崎地区の遊休不動産をスクールの題材とし、「プレインの題材とし、「を発力・」を発って、まるので、ままがの未利用地の活用に繋がいの創出も図る。

	主不作	, , , , ,				(Plar	n]	t画 / 【Do	) 実施							<b>4</b>		[Check]	評価 /	【Action】改善
於 -	重策番号 № 施策名	SDGs O. ュール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所名	事業・取組概要	指標名等	事 第 現状値 (基準値)	能評価の成果指標 R1年度	(目標・実績) R2年度	R3年度	中期目標	- 成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法	R1年月 容 局施第 去等) 評価	策  強化・見直した内容
() <b>适</b>	7-1- 3)-② E業拠 āの整 請	78 8 9	北九州空港跡地産業団地整備事業	企工立支課	北九州空港跡地 産業団地の整備を 行う。	分譲率	67% (H25年 度)	目標 83 % 実績 78 % 達成率 94.0 %	83 %	83 %	分譲率 100% (R5年 度)	継続	368, 896	181, 295	減額	6, 550	順調	企業から問い合わせを ており、購入希望時期に 合わせるよう、関連エ事 調整を密に取りながさ に造成工事を完了させ、 の分譲を目指す。	事との   早急   順調	関連工事の進捗に合わせて 産業用地の整備を進めていく ことで、産業基盤を充実させ ていく。
() 位 分	7-1- 3)-④観点 ć 2 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	79 (8)	門司港レトロル事業	門港ト課司レロ	門にお 問門にお を推 りて、上 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	有料観光施設の 利用者数	718, 783 人 (H29年 度)	実  0.47 404 1	710,000 人	710,000 人	71万人 (毎年 度)	継続	146, 800	488, 373	その他	38, 250	順調	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 な、のを をと、のを をと、のを をと、のを で、体で「ら了「ル予めいる。 をで、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、は、 で、ま、 で、は、 で、は、 で、ま、、ま、 で、ま、、ま、 で、ま、 で、ま、、ま、 で、、ま、 で、、 で、	に	施設の老朽化・安全対策を の老朽化・安全対策を の老朽のとともに、 があるの動力には があるのがでする。 がまたには を取りるでは を実施する。 を実施する。 を実施する。

						(Plar	า] 📑	·画 / 【De	o】 実施							<b>(</b>		[Check]	評価 /		【Action】改善
施策番号	SD O. 3	Gs 基本計画のが →ル を構成する 号 主な事業・耳	施策 事	主要事業所管 果名	事業・取組概要		1	評価の成果指標	(目標・実績)		<b>+</b> ++□	成果の	R2年度	R3年度 予算額	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて 強化・見直した内容	R1:	年度 施策	R3年度に向けて 強化・見直した内容
・施策名	番	号主な事業・耳	短組 問	か管 果名	于八 ·[八祖]//(文	指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	評価	(課題に対する改善方法	·等) 評	平価	(課題に対する改善方法等)
					森林社砂災害素ない、水害を野防をないに、 大き変収をしたが、大きないのでは、 大き変収をしたが、 、 大き変収をしたが、 、 大き変収をしたが、 大き変収をしたが、 大き変収をしたが、 大き変収をしたが、 大き変収をしたが、 大き変収をした			目 60 ha 標	100 ha	85 ha											
8	30	⑦ ⑦ 荒廃森林 事業	整備 農課	林	きが低下し、市民 の生活に重大な影 響を及ぼすことが	平成30年度から 令和9年度の10 年間で公益的機能が発揮での を指が発揮である を を を を を を を を を を を を を を を を る る を を を る る を も と る る も と も と も と も と も と も と も と も と	Oha (H29年 度)	実 96.1 ha 績			300ha (R4年 度)	継続	90, 000	75, 000	減額	5, 575	大変順調	引き続き広報活動に取み、森林所有者に対するの周知を図るとともに、 森林の整備を一層進めてく。	事業 荒廃		
Л-2- (1)-③ 総合的 な緑 と・森				:	懸念されている。 このため、平成20 年度に創設された 「福岡県森林環境 税」を活用し、荒 脱した森林の再生 を推進する。			達 成 160.2 % 率											JIC	頁調	荒廃した森林を整備し、水源涵養、山地災害の防止、地球温暖化防止等森林が有する公益的機能の向上を図ると協もに、森林所有者の理解と協力を得て、本市の森林整備に
大整備					長期的な林業の 低迷等により森林 の管理が適切に行 われないため、災 害防止や地球温暖 化防止など森林の			目 調査の標 実施	50 ha	50 ha											必要な事業を推進し、温室交 果ガスや二酸化炭素の吸収源 確保を図る。
8	31	多森林環境調 3 税事業	集与 農課	林	に公増る 元境し理が が が が が が が が が が が が が が	経営管理権の設 定面積	_	実 績 0 ha			200ha (R5年 度)	継続	51, 752	102, 046	増額	5, 575	やや 遅れ	制度の広報活動に取り み、経営管理権設定の推 図る。また、引き続き森 備のための調査を実施し 理権取得を促進する。	進を 林整		
					し、週切な程音音 理が行われていな い森林の整備及び 木材の利用促進等 を行う。			達 成 — 率													
Л-3- (3) -①					地球温暖化防止			目 標 89 ha	90 ha	90 ha								環境に配慮した農業は 重要であるため、生産者	行に対		環境に配慮した農業は大変
環境に	32	中山間地均 生産環境份 支援事業	は・農全課	林	地球温暖化防止 や生物多様性保全 に効果の高い営農 活動に取り組む農 業者に対して助成 する。	環境に配慮した 農業に取り組ん だ面積	0ha (H22年 度)	実 績 87.2 ha			90ha (R5年 度)	継続	8, 576	15, 651	その他	5, 400	順調	し必要に応じた情報提供 うなどし、今後も取り組 推進、実施面積の拡大を す。 事業統合により事業費	を行  Aの    音指	頁調	重要であるため、生産者に対し必要に応じた情報提供を行うなどし、今後も取り組みの推進、実施面積の拡大を目指す。
								達 成 98.0 % 率										加したもの。			

産業経	[				(Plar	n]	一画	/	[Do	」 実施							4		【Check】 評価	/	【Action】改善
施策番号	SDG:	s 基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事第	<b>美評価</b> (	の成果	指標	(目標・実績	)		成果の	R2年度	R3年度	事業費	人件費 (目安)	R1年度 事業	R3年度に向けて	R1年度 局施策	R3年度に向けて
・施策名	NO. 3 -/	きな事業・取組	主要事業 所管課名	事未" 以祖僦安	指標名等	現状値 (基準値)		R1年原	隻	R2年度	R3年度	中期 目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	下等額 (千円)	の増減	金額 (千円)	評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	戸師東	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							目標	1, 500	件												
				北九州市、ジェ トロ北九州、(公 社)北九州貿見協会	外国企業との商 談件数	1, 341件 (H23年 度)	実績	399	件			1,500件 (毎年 度)	<u>.</u>								
VII-2- (1)-3 北九ブラのビス 海ジャネス	83 8	国際競争力強 )化支援事業 (販路開拓)	メート	北九州市、ジェトロ北九州、(公社)北九州貿易協会の3機関で設置している「北九州貿易・投資・サービスストップ・ビスン			達成率	26. 6	%				┤ 継続	13, 529	13, 048	維持	27, 200	順調	引続き、市内企業のニーズ を踏まえた販路開拓の機会の 提供やグローバル展開の支援	順調	国際ビジネス環境の変化に 対応した商談機会の創出に努 め、外国企業との成約件数の
ン 海 外 ジ 支 援		(販路開拓):		、 タて品業推と国際 が一、調のを が一、調のを が一、調のを が、一、調のを が、一、調のを が、元ネる が、元ネる のので のので のので のので のので のので のので のの			目標	20	件	20 件	20 件								に努める。		増加を図る。
				国	外国企業との成 約件数	17件 (H23年 度)	実績	21	件			20件 (毎年 度)									
							達成率	105. 0	%												
							目標	1	件	1 件	1 件										
				海外企業の本市 進出や、地元企業	本市への外国企 業・機関の進出 件数	1件 (H26年 度)	実績	1	件			1件 (毎年 度)								変	
VII-2- (3)-① アからへ資び ・ でいるのの込	84 8	国際競争力強 化支援事業 (対日投資)		しの声楽油機体と			達 成 率	100. 0	%				→継続	1, 000	4, 490	増額	6, 900	順調	ジェトロ等の関係機関と連携し、国際ビジネス環境の変化に対応した効果的な誘致活動を実施するとともに、外国企業のエーズ発掘に努める。		本市への進出に意欲的な外 国企業に本市の投資環境をPR することで、対日投資の拡大 を図る。
投資の呼び込み			アッ プ推 進課	と促ジ県とのど行に作うの進ェな携め、州機本境ののしれるでいる。 単すトど携がアと要・ は、では、では、では、では、では、できるが、地域では、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できる。 というが、できるが、できる。 できるが、できる。 できるが、できる。 できるが、できる。 できるが、これでは、これできる。 できるが、これでは、これでは、これできる。 できるが、できるが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは			目標	70	社										R3年度は、海外スタートアップ・有力企業と市内企業のマッチング事業を実施する。		を図る。
					視察受入企業数	70件 (H24年 度)	実績	18	社			70社 (毎年 度)									
							達 成 率	25. 7	%												